MITSUBISHI ELECTRIC

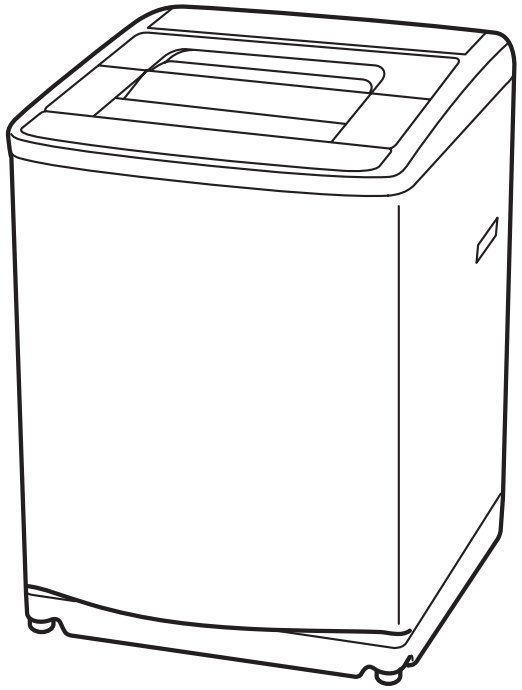
三菱全自動電気洗濯機(家庭用)

形名

エム エイ ダブリュ　　ビー ピー

MAW-70BP

取扱説明書



●ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
●保証書は「お買上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。
●「取扱説明書」と「保証書」は大切に保存してください。
●お客様ご自身では据付けないでください。(安全や機能の確保ができません)

※この商品は日本国内専用で、外国では使用できません。また、アフターサービスもできません。
※This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

製品登録のご案内

三菱電機のウェブサイトで「製品登録」いただくと、製品に関するお役立ち情報をメールやウェブサイトでご紹介します。

三菱電機製品登録　検 索

もくじ

ご使用の前に

安全のために必ず守ること 4
各部のなまえ・付属品 8
操作パネルのはたらき 10
ご使用の前に 12
据え付け状態の確認 12
使用上のお願い 13
ふたを開ける 13
チャイルドロックの設定・解除 13

お洗濯の前に

洗濯物の確認と準備 14
洗濯も風脱水もできないもの 14
風脱水できないもの 14
洗濯物の準備 15
洗濯物の量と重さの目安 16
洗濯物の片寄りを防ぐ 17
洗剤や柔軟剤の使いかた 18
洗濯物の量の計測と水量表示 18
洗剤・漂白剤・柔軟剤量 18
洗剤・漂白剤・柔軟剤の入れかた 20
石けん(天然油脂)の入れかた 22
洗濯のりの使いかた 23
使用できる洗濯のり 23

使いかた

風呂水を使う 24
お湯取ホースの準備 24
お湯取ホースの片付け 24
ふろ水運転の設定 25
運転コースの選びかた 27
洗濯する 28
使いかた 28
各機能の設定・解除 29
「洗い」行程動作について
(毛布コースはP.35、ドライコースはP.37) 29
部屋干し(洗濯～風脱水)する 30
使いかた 30
風脱水する 31
使いかた 31
メモリーコースを使う(自分でコースを造る) 32
使いかた 32
毛布コースで洗濯する 33
洗濯物の準備 33
毛布洗いネットの使いかた 34
使いかた 35
毛布・掛け布団の干しかた 35
ドライコースで洗濯する 36
洗濯物の準備 36
使いかた 37
お好みの設定で運転する 38
水量・洗い・すすぎ・脱水の設定を変更する 38
「脱水のみ」などの個別運転をする 39
運転内容と変更できる内容 40
予約運転をする 42
使いかた 43
便利な使いかた 44
ボタン受付音の設定 44
終了音の設定 44
脱水後の洗濯物をほぐす(ほぐし脱水) 45
洗濯液を2度使う 45

お手入れ

お手入れをする 46
糸くずフィルター 46
洗剤トレイ(洗剤・漂白剤投入口) 47
柔軟剤投入口 47
給水口 48
風呂水吸水口 49
お湯取ホース・クリーンフィルター 49
排水口・排水トラップ 50
吸気口 50
本体 51
洗濯・脱水槽 51
槽洗浄・槽乾燥コースでお手入れをする 52
コースの使い分け 52
槽洗浄コース 52
槽乾燥コース 52
使いかた 53

修理を依頼する前に

お知らせ表示されたとき 54
こんな音がしたとき 55
本体各部 55
❶ 音・振動 55
❷ 給水口・給水 55
❸ 排水口・排水 56
❹ ふた 56
❺ 洗濯・脱水槽 56
❻ 風呂水吸水・風呂水吸水口 56
❼ 本体 56
❽ 運転時間 56
❾ 運転動作 57
❿ 電源 57
⓫ 水量表示 57
洗濯物の仕上がりが気になる 58
⓬ 衣類に洗剤残りがある(白いものが残る) 58
⓭ 糸くずが気になる 58
⓮ 汚れ落ちがわるい 58
⓯ 黒ずみが気になる 58
⓰ 黄ばみが気になる 59
⓱ 色移りや変色が気になる 59
⓲ 洗濯物がゴワゴワする 59
⓳ においがする 59
⓴ 風脱水したのに乾きがわるい 59

アフターサービスなど

もしものとき 60
給水ホースを外し水抜きをするとき
(引っ越しまたは凍結のおそれがあるとき) 60
もしも凍結したとき 61
別売り部品 62
仕様 64
保証とアフターサービス 66

安全のために必ず守ること

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。

⚠ 警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度
⚠ 注意	取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度

本文中や本体に使われている図記号の意味は、次のとおりです。

絵表示の例	
⚠	「警告や注意を促す」内容のものです。
🚫	してはいけない「禁止」内容のものです。
❗	実行していただく「指示」内容のものです。

⚠ 警告

電源プラグや電源コードは

●ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない
ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると感電の原因になります。
電源プラグを抜き差しするときは、手を拭いてください。

●傷んだ電源コードや電源プラグ、差し込みのゆるいコンセントは使用しない
そのまま使用すると感電・ショート・発火の原因になります。
販売店へ修理を依頼してください。

●電源コードを傷つけない
〔傷つけ・加工・無理な曲げ・引っ張り・ねじり・重いものを載せる・挟み込むなどしない〕
電源コードが破損し、火災や感電の原因になります。
販売店へ修理を依頼してください。

●テーブルタップによるタコ足配線はしない
他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して火災の原因になります。
コンセントを単独で使ってください。

●延長コードは使用しない
過熱し、発煙・発火の恐れがあります。
延長コードを使用せずに電源プラグを直接コンセントに差し込んでください。

●定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使う
他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して火災の原因になります。
コンセントの定格を確認のうえ、単独で使ってください。

●電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全な場合、感電やショートして発火することがあります。
電源プラグを根元まで確実に差し込んで使用してください。

●電源コードは電源プラグを持って抜く
電源コードを引っ張ると破損して、感電やショートして発火することがあります。
電源コードを抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。

●電源プラグは定期的に乾いた布でよくふき取る
ほこりが付着すると湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。
電源プラグの刃や、刃の取り付け面にほこりが付着している場合は乾いた布でよくふき取ってください。

⚠ 警告

電源プラグや電源コードは

●お手入れの際は、電源プラグを抜く
取扱いを誤った場合、感電やけがの原因になります。
お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

●長期間ご使用にならないときは、電源プラグを抜く
絶縁劣化により、火災の原因になります。
長期間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

アース線は

●アース線を取り付ける
アース線を取り付けないと漏電のとき感電することがあります。
アース工事は第二種電気工事士が行ってください。
ガス管、電話線、避雷針、水栓には接続しないでください。(法令などで禁止されています)

据え付けのときは

●浴室など湿気の多い場所には据え付けない
絶縁不良により、感電や漏電による火災の原因になります。
浴室など湿気の多い場所を避けて据え付けてください。

●風雨にさらされる場所には据え付けない
絶縁不良により、感電や漏電による火災の原因になります。
風雨のあたらない場所に据え付けてください。

●キャスターの付いている台などや、不安定な場所に据え付けない
本体の異常振動により、けがの原因になります。
しっかりした床に水平に据え付けてください。

洗濯物や洗剤は

●洗剤を入れすぎない
泡が多量に発生して、水漏れや感電をする恐れがあります。
洗剤は表示に従って適量を入れてください。

運転中、運転後は

●洗濯・脱水槽が完全に止まるまでは、中の洗濯物に手などを触れない
ゆるい回転でも洗濯物が手に巻きついて大けがをする恐れがあります。
特に子どもにはご注意ください。
洗濯物は洗濯・脱水槽が完全に止まってから取り出してください。

本体の近くには

●引火物は洗濯・脱水槽に入れない、近づけない
油などの酸化熱による自然発火や引火の恐れがあります。
灯油・ガソリン・ベンジン・シンナー・アルコールやそれらの付着した洗濯物を洗濯・脱水槽に入れたり、近づけたりしないでください。

●火気を近づけない
引火して火災の原因になります。
ローソク、蚊取り線香、たばこなどの火気を近づけないでください。

⚠ 警告

本体の近くには

●磁気を帯びたものを近付けない
誤動作により、ふたが開いた状態でも洗濯・脱水槽が回転し、けがをする恐れがあります。
操作パネル部付近には、磁石などの磁気を帯びたものを近付けないでください。

●子どもに洗濯・脱水槽の中をのぞかせない
洗濯・脱水槽の中に落ちてけがをする恐れがあります。
本体の近くに台などを置かないでください。

そのほか

●本体各部に直接水をかけない
絶縁不良により、ショート・感電の原因になります。
お手入れするときなどは、本体各部に直接水をかけないでください。

●水以外のものを吸い込まない
引火して、爆発や火災の原因になります。
お湯取ホースで灯油、ガソリンなど水以外のものを吸い込まないでください。

●入浴中は風呂水吸水をしない
絶縁不良による万一の感電を防ぐためです。
風呂水吸水は入浴をしていないときにおこなってください。

●ポリ袋をかぶらない
ポリ袋を頭からかぶると、窒息する恐れがあります。
付属品が梱包されているポリ袋は、子どもの手の届かないところに置いてください。

●分解・修理・改造をしない
修理技術者以外の分解・修理・改造は火災・感電・けがの原因になります。
修理は販売店などにご相談ください。

●異常がある場合は、すぐに電源プラグを抜く
そのまま使用すると感電や漏電・ショートによる火災の恐れがあります。
動かなくなったり、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常がある場合は、事故防止のためすぐに電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。

⚠ 注意

洗濯物は

●防水性のもの、硬くて厚いもの、水を通しにくいものは、洗い・すすぎ・脱水・風脱水をしない
脱水中の洗濯物の飛び出しや異常振動・本体の転倒により、けがや壁および床などの破損、洗濯物の損傷の恐れがあります。
防水性のマット・シートや衣類、足ふきマット、玄関マットなど硬くて厚いもの、水を通しにくい繊維製品、カーペットは、洗い・すすぎ・脱水・風脱水を絶対にしないでください。

例えば
釣具ウェア、スキーウェア、雨ガッパ、寝袋、サウナスーツ、ウェットスーツ、ウィンドブレーカー、紙おむつ、おむつカバー、自転車・バイク・自動車カバー、カーペット、防水性マット・シート、足ふきマットなど硬くて厚いものなど

●毛布などを折りたたんだまま重ねて入れない
折りたたんだ洗濯物の固まりが脱水中に突然バランスをくずして異常振動し、けがや壁および床などの破損、洗濯物の損傷の恐れがあります。
毛布などの大物の洗濯物を折りたたんで重ねた状態で、洗濯・脱水槽に絶対に入れないでください。

●大きな洗濯ネットは使用しない
脱水中に異常振動して、けがをする恐れがあります。
一辺が40cm以上の大きな洗濯ネットは使用しないでください。

⚠ 注意

運転前後、運転中は

●ふたを無理に開けない
ふたロックが破損し、けがの原因になります。
ふたのロックが解除されてから開けてください。

●本体の下に手足などを入れない
回転部があり、けがの原因になります。
運転中は本体の下に手足などを入れないでください。

●ふたの側面や折りたたみの部分を持たない
ふたの側面や折りたたみの部分を持つと、指や手を挟み、けがをする恐れがあります。
ふたは取っ手を持って開閉してください。

●洗濯・乾燥前は水栓を開いて、水漏れがないか確認する
ねじの緩みや水栓のパッキン、金属部などの経年劣化やさびなどにより水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。
据え付け直後や移設直後などの水栓接続を変えたあとや洗濯・乾燥前は、水栓を開いて水漏れがないか確認してください。

●使用後は、水栓を閉じる
万一の場合に水漏れの原因になります。
使用しないときは、水栓を閉じておいてください。

風呂水を使うときは

●浴槽の水面より風呂水吸水口が低くなる場所では使用しない
サイホン現象により、ポンプ運転が終了しても水が止まらず、水漏れの原因になります。
風呂水運転をする場合は、風呂水吸水口を浴槽の水面より高くして使用してください。

●お湯取ホースのクリーンフィルターを浴槽に入れたまま吸水つぎてを外さない
サイホン現象により、風呂水が流れ出して床面をぬらす恐れがあります。
お湯取ホースの吸水つぎてはクリーンフィルターを浴槽から出してから外してください。

そのほか

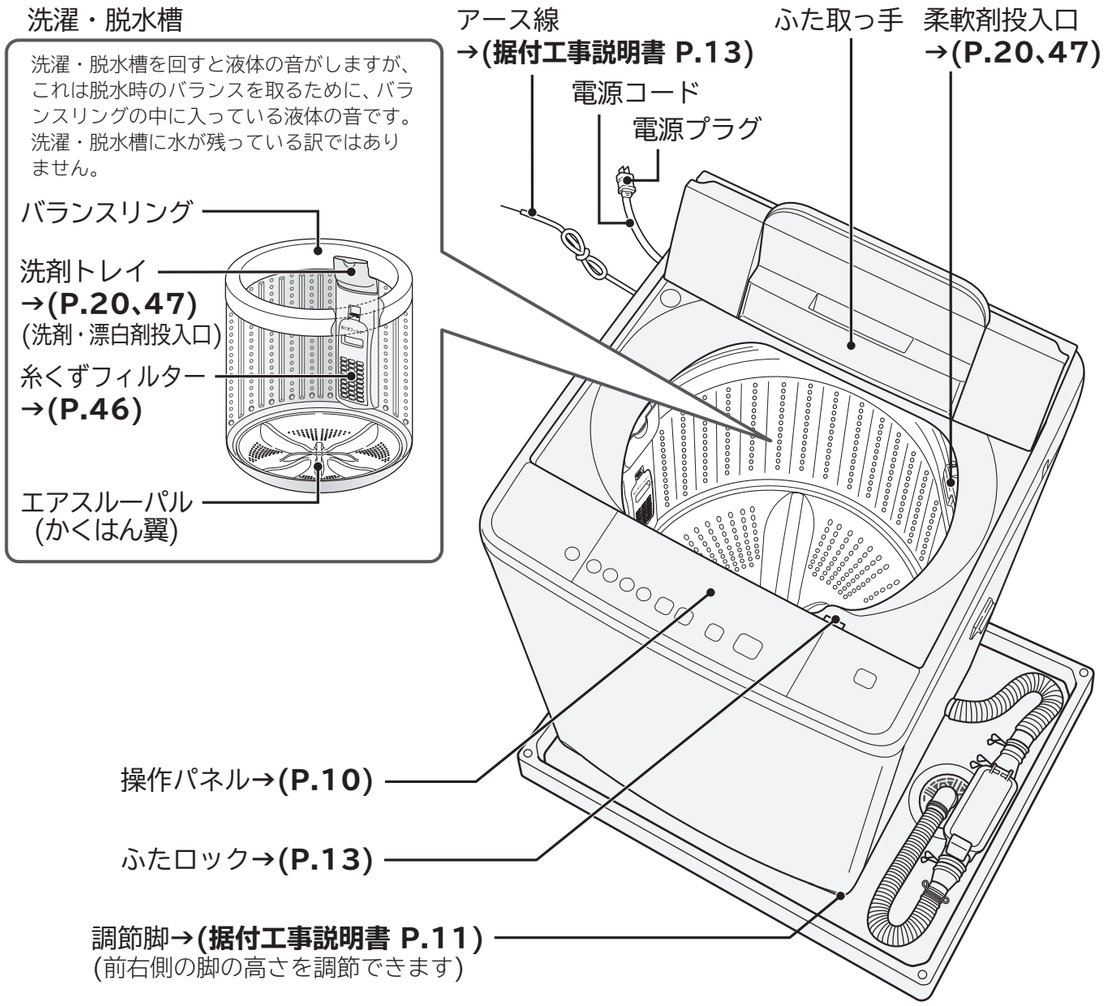
●50℃以上のお湯や給湯機からの温水を使わない
プラスチック部品の変形や傷みにより、感電や漏電の原因になります。
50℃以上のお湯や給湯機からの温水は使用しないでください。

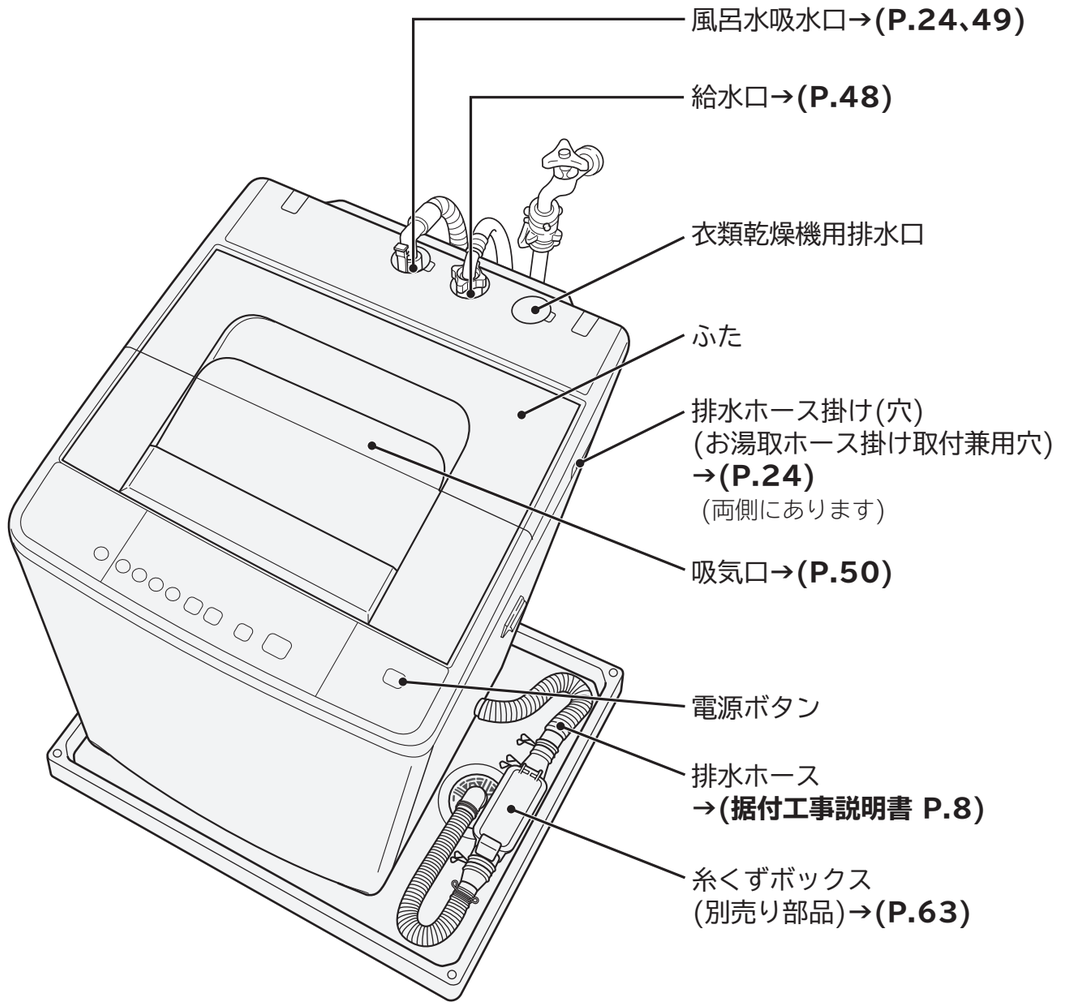
●のぼったり、重いものを載せない
変形や破損により、けがの原因になります。
本体の上にのぼったり、重いものを載せたりしないでください。

●防水パンや洗濯機トレーを設置する
水漏れや結露時に床面が濡れたり汚れたりする恐れがあります。
洗濯機用防水パン、洗濯機用トレーをお買い求めいただき、設置することをおすすめします。

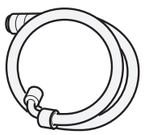
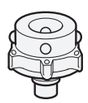
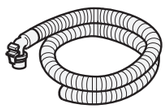
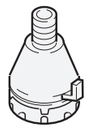
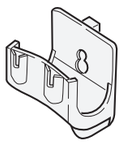
各部のなまえ・付属品

使用する前に、本体各部のなまえと付属品を確認してください。
主な説明のあるページを→**(P.○○)**で示しています。





付属品

水栓(蛇口)との接続に使用します		風呂水を使うときに使用します			お湯取ホースを片づけるときに使用します	本体の水平を確認するときに使用します
給水ホース(約0.8m) →(据付工事説明書 P.16)  （1本）	ワンタッチつぎて →(据付工事説明書 P.15)  （1個）	お湯取ホース(約4m)（吸水ホース） →(P.24)  （1本）	クリーンフィルター →(P.24)  （1個）		お湯取ホース掛け →(P.24)  （1個）	水準器 ※水準器は洗濯機専用です。 →(据付工事説明書 P.12) （1個）

操作パネルのはたらき

説明のため、すべての表示を点灯状態にしています。

風脱水／槽乾燥 →(P.31、52)

「風脱水」ボタンを押すと、「風脱水」の時間と、「槽乾燥」を選ぶことができます。

予約／部屋干し／槽洗浄 →(P.42、30、52)

「便利」ボタンを押すと、予約、部屋干し、槽洗浄を選ぶことができます。

洗濯コースを選ぶ →(P.27)

「洗濯コース」ボタンを押すと、選んでいるコースが点灯します。

ふたのロック表示 →(P.13)

■🔑 (ランプの点灯)
ふたがロックされているときや、ふたロック(チャイルドロック)が設定されているときにランプが点灯します。

電源ボタン

電源の入・切を行います。

- ●電源を入れたあと、20分以内にスタートしないと、自動で電源が切れます。
- ●運転が終了すると、自動で電源が切れます。(電源オートオフ)

運転内容を変える →(P.38~41)

「水量」「洗い」「すすぎ」「脱水」の設定を変更することができます。
コースによっては、変更できないこともあります。

風呂水を使う →(P.24)

「ふろ水」ボタンを押すと、風呂水が使える行程を順に点灯します。

スタート／一時停止

スタートや一時停止を行います。

- ●運転中に「スタート／一時停止」を押しても、洗濯・脱水槽の回転が止まるまではふたは開きません。

表示について

設定や行程などをランプの点灯と点滅でお知らせします。

消灯表示 …… □
点灯表示 …… ■
点滅表示 …… ☼

■電源を入れたあと、長押し操作で設定が変わるボタン

水量	ボタン受付音が変えられます。	→(P.44)
洗い	ふたロック(チャイルドロック)の設定・解除ができます。	→(P.13)
脱水	ほぐし脱水の設定・解除ができます。	→(P.45)

ふろ水	・ふろ水設定を記憶する/しないを切り替えることができます。 ・清水すすぎの設定・解除ができます。	→(P.26)
スタート一時停止	終了音を設定・解除することができます。	→(P.44)

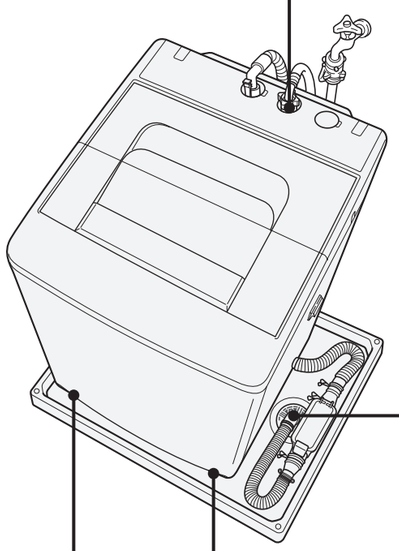
操作パネルの点字表記について

目の不自由なかたのために操作部の位置がわかる「点字シール」(操作部に貼り付けます)をご用意しています。ご希望のかたは、「三菱電機お客様相談センター」へお問い合わせください。→(P.67)

ご使用の前に

据え付け状態の確認

洗濯機の据え付けは、販売店が実施しております。お客様ご自身では据え付けないでください。
(安全や機能の確保ができません)
販売店が試運転を行う際立ち会っていただき、チェックリストをお受け取りください。運転手順、安全を確保するための正しい使いかたについて、販売店から説明を受けてください。
据え付け完了後、次の事項をお客様自身でも確認してください。



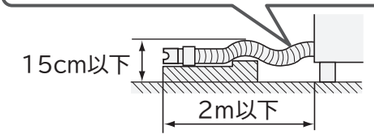
水漏れを防ぐ

- 水栓(蛇口)の接続は、付属品のワンタッチつぎて→**(P.8)**を使用していますか？
- 接続部分に緩みやぐらつきはありませんか？
- 給水ホースが回らないように片手で押さえ、つぎてが上下にぐらつかないところまでユニオンナットを回す。さらに、ユニオンナットを約90°回し、しっかり締め付ける →**(据付工事説明書 P.16)**
- 水栓(蛇口)にさびの発生はありませんか？

排水異常を防ぐ

- 排水ホースの高さは、15cm以下になっていますか？
- 排水ホースが、排水口に取り付けられていますか？→**(据付工事説明書 P.9)**

敷居を越えるときは、高さ15cm以下、排水ホースの全長を2m以下に



脱水時の停止・異常音・振動を防ぐ

- 本体が水平に設置されていますか？
  水準器の気泡が円の中に入るように、調節脚や脚キャップで高さを調節してください。
  →**(据付工事説明書 P.11)**

排水時の停止を防ぐ(お知らせ表示(すすぎ)全点滅の表示)

- 排水口が掃除できるように設置されていますか？
  排水口・排水トラップは月１回を目安にお手入れをしてください。→**(P.50)**
- 排水口に糸くずが詰まりやすい場合や、掃除しにくい場合は、別売り部品の糸くずボックス→**(P.63)**をお買い求めいただき、設置することをおすすめします。

万一の感電防止のため、アース線は必ずアース専用端子に接続してください。ガス管・水道管・避雷針などへは、絶対に取り付けないでください。アース専用端子がない場合には、お買い上げの販売店にご相談ください。(アース工事は有料で、電気工事士の有資格者が工事をするよう法令で定められています)

⚠警告

水場禁止
- **浴室など湿気の多い場所には据え付けない**
  絶縁不良により、感電や漏電による火災の原因になります。
  浴室など湿気の多い場所を避けて据え付けてください。

水ぬれ禁止
- **風雨にさらされる場所には据え付けない**
  絶縁不良により、感電や漏電による火災の原因になります。
  風雨のあたらない場所に据え付けてください。

禁止
- **キャスターの付いている台などや、不安定な場所に据え付けない**
  本体の異常振動により、けがの原因になります。
  しっかりした床に水平に据え付けてください。

使用上のお願い

よくお読みのうえ、正しくお使いください

- **運転中は電源プラグを抜かない（本体の故障のおそれ）**
  「一時停止」ボタンを押し、電源を切り電源プラグを抜いてください。
- **本体にテレビやラジオを近づけない（画面が乱れたり、雑音が入ったりするおそれ）**
  運転中の本体の近くでは、ノイズが入り放送が正常に受信できないことがあります。
  ラジオやテレビは、運転中の本体から離れたコンセントに差し込み、2m以上離してください。
- **洗濯物を入れ過ぎない**
  （洗濯物のはみ出しにより、洗濯物や本体のプラスチック部品の破損のおそれ）
  （洗濯時間が長くなったり、洗いムラが発生したりするおそれ）
- **風脱水運転中は十分に換気をする**

ふたを開ける

安全のため、運転中はふたが自動でロックされています。

運転の流れとふたのロック表示

スタート ▶ 水量表示 ▶ 給水 ▶ 洗い ▶ すすぎ ▶ 脱水 ▶ 運転終了

□ (消灯) ― ■ 点灯 ▶ □ (消灯)

ふたがロックされています

運転中にふたを開ける手順

1 **(スタート一時停止)を押し、運転を一時停止する**
洗濯・脱水槽の回転が止まると、□が消灯してロックが解除され、ふたを開けることができます。

2 **ふたを閉め、(スタート一時停止)を押し、運転を再開する**
■が点灯してふたがロックされ、運転が始まります。
しっかり閉めないと、ふたがロックされず、危険防止のため運転が始まりません。

・無理にふたを開けると、ふたが壊れるおそれがあります。
・すすぎの途中に一時停止をした場合、運転再開後、次の脱水運転が始まる前にふたがロックされます。
・「ドライ」コースは洗いから、「毛布」コースは給水からふたがロックされます。

ふたが開かないとき→(P.56)

チャイルドロックの設定・解除

子どもが勝手にふたを開けたり、誤って洗濯・脱水槽の中に落ちないようにするため、給水から強制的にふたをロックして、開けられないようにすることができます。

運転の流れとふたのロック表示

スタート ▶ 水量表示 ▶ 給水 ▶ 洗い ▶ すすぎ ▶ 脱水 ▶ 運転終了

■ 点灯 ▶ □ (消灯)

ふたがロックされています

設定／解除のしかた(工場出荷時は設定されていません)

1 **ふたを閉め、(⏻)を押し、電源を入れる**

2

設定するとき
(洗い)を「ピー」と鳴るまで3秒以上押す
■が点灯し、ふたロックが設定されます。

設定を解除するとき
(洗い)を「ピッ」と鳴るまで3秒以上押す
□が消灯し、ふたロックが解除されます。

3 **(⏻)を押し、電源を切る**(電源を切ることで完了となります)

変更した内容は、電源を切っても記憶されています。設定を変更するときは、同じ操作を行ってください。

洗濯物の確認と準備

洗濯物に付いている取扱い表示や注意表示を確認してください。

洗濯も風脱水もできないもの

取扱い表示や種類によっては、下記の衣類・製品でも洗濯運転や風脱水運転ができません。
洗濯物の縮み、形くずれ、変色、損傷、風合い劣化などのおそれがあります。

- ●取扱い表示 ⊠ や Ⓕ の表示があるもの
- ●取扱い表示や素材表示が付いていないもの
- ●皮革・毛皮・羽製品、それらの装飾品付き製品
- ●和服、和装小物製品
- ●ネクタイ、スーツ、コート
- ●レーヨン、キュプラ、それらの混紡品
- ●シルク製品
- ●ベルベットなどのパイル地製品
- ●コーティング加工、樹脂加工、エンボス加工の製品
- ●毛100%または毛足10mm以上の毛布やカーペットカバー
- ●強撚糸(強くよじった糸)を使用したウールやちりめんなどの製品
- ●靴

洗濯物が片寄りやすく、異常振動による本体の故障、けが、洗濯物の破れなどのおそれがあります。

- ●防水性製品 **→(P.6)**
  洗濯物に洗える表示があっても､洗わないでください。
- ●玄関マット、ラグマット、敷物
  - ・裏面にゴムが付いているもの
  - ・厚手のもの
  - ・毛足の長いもの
- ●カーペット
- ●座布団や枕、クッションなど
- ●洗濯補助具(洗濯ボール、ゴミ取りフィルターなど)
- ●ペットの毛が多量に付着したもの

風脱水できないもの

取扱い表示や種類によっては、下記の衣類・製品の風脱水運転ができません。
洗濯物の縮み、しわつき、変色、損傷、風合い劣化などのおそれがあります。

- ●のり付けしたもの
- ●ゴムやウレタンなどを使用した製品
- ●ウレタン(スポンジ類)の入ったぬいぐるみなど
- ●布団類などわたを使用した製品
- ●ウールなどの獣毛およびその混紡製品
- ●タイツ
- ●レースや刺しゅうなど飾りや付属品のある製品
- ●濃い色のプリントもの
- ●次のような取扱い表示が付いているもの

Ⓟ Ⓟ	パークロロエチレンおよび石油系溶剤による ドライクリーニングができる
	つり干しがよい

弱くしぼる、ねじりまたはしぼり禁止の表示のあるもの

洗濯物の準備

上手に洗濯をするために、洗濯前に確認し、洗濯物の準備をしてください。

ポケットの中のものを取り出す		硬貨やヘアピン、つまようじなどの先のとがったものなどを取り除いてください。 洗濯物のポケットの中なども確認してください。 洗濯物の傷みや本体の故障の原因になります。
衣類のひもなどは結んで、ファスナーやボタンは閉める		衣類のひもなどは結び､ファスナーやボタンは閉めてください。 洗濯物の絡みや傷み、本体の故障の原因になります。
しみは早めに落とす(えり､そで口などの脂汚れ)		しみやひどい汚れは早めに処理してください。 時間がたつと落ちにくくなり、黄ばみの原因になります。 洗濯前に部分洗いなどで処理しておくと、より効果的です。 えり、そで口、すそやポケット回りの汚れは、洗剤の原液を付けて、ブラシで一定方向にこすってください。
大きなゴミなどを取り除く		大きなゴミ、泥や砂、髪の毛、ペットの毛は取り除いてください。 本体内部にゴミや異物が詰まり、本体の故障の原因になります。
毛玉がつきやすい衣類は裏返しする		毛玉ができやすいセーターなどは裏返してください。 洗濯物どうしの摩擦や､かくはん翼でのこすれは、洗濯物の傷みの原因になります。

洗濯物を仕分ける

色落ちなどの防止をするために、分けて洗濯してください。

色落ちしやすい洗濯物	●白いタオルなどに洗剤液を含ませ、洗濯物の目立たない部分に強く押し当てて、洗濯物からタオルに色移りしないか確認してください。 色移りがあった場合は、洗濯しないでください。 ●著しく色落ちする洗濯物は分けて、同類の洗濯物を2、3枚まとめて洗ってください。 ●色落ちしやすい洗濯物(スカーフ、外国製の衣類など)は、注意してください。
糸くずが気になる洗濯物	●タオル・バスタオルは分けて洗ってください。 ●コーデュロイ(起毛素材)や濃い色の洗濯物、ストッキングなどは、市販の糸くず防止用洗濯ネットに入れて洗ってください。
デリケートな洗濯物 **・小物類**	●レースの付いた洗濯物､ブラウス､ストッキング､タイツなどは、洗濯ネットに入れて洗ってください。 ●ワイヤー入りブラジャーは､ブラジャー専用ネットに入れて洗ってください。

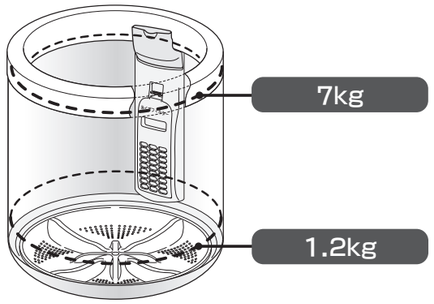
洗濯物の量と重さの目安

運転コースによって、洗濯できる量と重さが異なります。→(P.27)
量と重さの目安に従って、洗濯物を洗濯・脱水槽に入れてください。

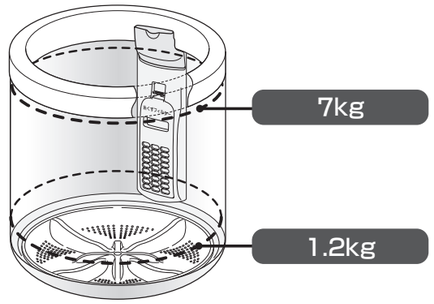
洗濯時の乾いた洗濯物と脱水後のぬれた洗濯物の量と重さの目安

乾いた洗濯物

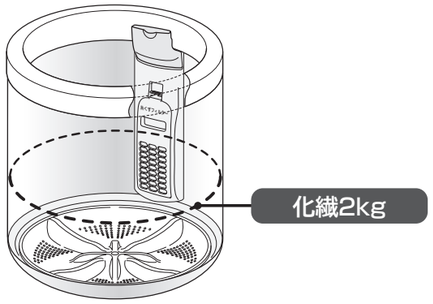
乾いた状態の洗濯物を押さえこむ前の目安です。



ぬれた洗濯物



風脱水使用時の脱水後のぬれた洗濯物の量と重さの目安



衣類別の重さの目安

洗濯物の重さを確認するための目安です。洗濯物の素材や大きさにより実際の重さは異なります。

	肌着類	シャツ・ズボン類	タオル・寝具類
50g	ブリーフ、靴下		
100g	肌着		タオル
200g		ワイシャツ	
300g			バスタオル
400g		パンツ、スカート	パジャマ上下
500g		シーツ	

洗濯物の重さの目安は、一般社団法人　日本電機工業会・自主基準によるものです。

洗濯物の片寄りを防ぐ

脱水時に洗濯物の片寄りが起こると、洗濯物を傷めたり、本体の故障の原因になるため、自動で片寄りを修正する動作を行います。そのとき運転時間が長くなります。
自動で修正できない場合は、脱水中に振動が大きくなり、運転が途中で止まる場合があります。
洗濯物の片寄りを防ぐには、次のようなことに注意してください。

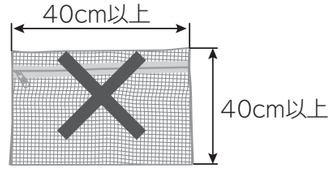
洗濯物を洗濯・脱水槽の中に入れるときは

●重いものが片寄らないように、洗濯物は洗濯・脱水槽の外側に均一に広げて入れてください。

●洗濯物を詰め込み過ぎないでください。

洗濯ネットを使うときは

●洗濯ネットには洗濯物を詰め込み過ぎないでください。
片寄りが起こりやすくなるだけでなく、汚れ落ちもわるくなります。
2、3個の洗濯ネットに分けて入れてください。
●一辺が40cm以上の大きな洗濯ネットを使用しないでください。
洗濯物が片寄り、異常振動の原因になります。



※ 洗濯ネットのファスナーは閉めてください。
閉めないで使用すると洗濯物を傷める場合があります。

大物(シーツ)や厚手の洗濯物(ジーンズ、柔道着、つなぎなど)、洗濯ネットに入れた洗濯物は

●大物の洗濯物や厚手の洗濯物、洗濯ネットに入れた洗濯物は、水を含みやすく、重くなります。
一つだけでは洗濯しないでください。
ほかの洗濯物を2、3枚追加して洗ってください。

●先に洗濯・脱水槽に入れてから、ほかの洗濯物を入れてください。

洗剤や柔軟剤の使いかた

洗剤や柔軟剤は、手順に従い、適量を投入口に入れてください。

洗濯物の量の計測と水量表示

洗濯物の量は自動計測され、それに合わせた水量が表示されます。

1 洗濯物を洗濯・脱水槽に入れる

2 電源を入れ、運転するコースを選び、
スタート 一時停止 を押す

かくはん翼が回転し、洗濯物の量が自動計測されます。

あらかじめ水が入っている場合や、「毛布」「ドライ」コースを設定した場合は、洗濯物の量は自動計測されません。

洗濯物の量に合わせた水量が表示されます。

「毛布」「ドライ」コースは、標準設定の水量が表示されます。

「標準」コース(水量35L)の例

3 右表を参考に洗剤、漂白剤、柔軟剤を入れ、ふたを閉める

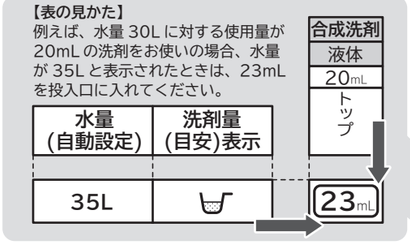
洗剤・漂白剤・柔軟剤の入れかた→(P.20)

ふたが開いていると給水されません。
ふたを閉めると給水が始まります。

洗剤・漂白剤・柔軟剤量

使用する洗剤・漂白剤・柔軟剤の容器に記載されている使用量の目安を確認し、操作パネルに表示された水量表示に従って、適量を投入口に入れてください。

【表の見かた】
例えば、水量30Lに対する使用量が20mLの洗剤をお使いの場合、水量が35Lと表示されたときは、23mLを投入口に入れてください。



(2018年9月現在)

洗濯容量(目安)	水量(自動設定)	洗剤量(目安)表示	合成洗剤 粉末 アタック	合成洗剤 粉末 アタック リセットパワートップ	合成洗剤 粉末 アリエール	合成洗剤 液体 アタックNeoナノックス	合成洗剤 液体 トップ	合成洗剤 液体 アタック アリエール	合成洗剤 液体中性 エマール アクロン	石けん 粉末 そよ風	石けん 液体 洗濯用液体複合石けん	漂白剤 ワイドハイター EXパワー ブライトW	柔軟剤 濃縮 ハミングNeo	柔軟剤 濃縮 ハミング(濃縮) ふんわりソフラン	柔軟剤 濃縮 レノア 香りとデオドラントのソフラン	柔軟剤 普通 ハミング レノアプラス
			水量30Lに対する洗剤使用量(容器の記載を確認)													
			20g	25g	35g	10mL	20mL	25mL	40mL	36g	40mL	20mL	4mL	7mL	10mL	20mL
～7kg	57L		38g	47g	66g	19mL	38mL	47mL	76mL	68g	76mL	38mL	8mL	13mL	19mL	38mL
3～5kg	50L		33g	42g	58g	17mL	33mL	42mL	67mL	60g	67mL	33mL	7mL	12mL	17mL	33mL
2～3kg	40L		27g	33g	47g	13mL	27mL	33mL	53mL	48g	53mL	27mL	6mL	9mL	13mL	27mL
	35L		23g	29g	41g	12mL	23mL	29mL	47mL	42g	47mL	23mL	5mL	8mL	12mL	23mL
1～2kg	30L		20g	25g	35g	10mL	20mL	25mL	40mL	36g	40mL	20mL	4mL	7mL	10mL	20mL
～1kg	25L		17g	21g	29g	8mL	17mL	21mL	33mL	30g	33mL	17mL	3mL	6mL	8mL	17mL

洗剤および洗濯物の量

- 洗剤を入れ過ぎると泡が多量に発生し、水漏れや排水口から泡があふれるおそれがあります。
- 香りの強い柔軟剤を使用すると、洗濯終了後に洗濯・脱水槽のにおいが気になる場合があります。
- 表の洗濯物の量は、JIS（日本工業規格）で規定された布地を洗濯した場合のものです。
  洗濯物の種類、大きさ、厚さなどによって洗濯物の量が変わります。
  洗濯物の量は最大洗濯容量の7～8割が適当です。
- 洗剤量表示：水30Lに対する表示が20gの粉末合成洗剤の同梱スプーン(すりきり1杯約47g)のものを基準にしています。
- 使用する洗剤・漂白剤・柔軟剤・石けんの容器に記載してある「使用量の目安」や「使用上の注意」をよくご覧になり、正しく使用してください。
  また、洗剤の種類により、スプーンまたはキャップ1杯の洗剤量が異なります。
- 軽い汚れの場合は、上の表の半分程度(5～6割)が適当です。

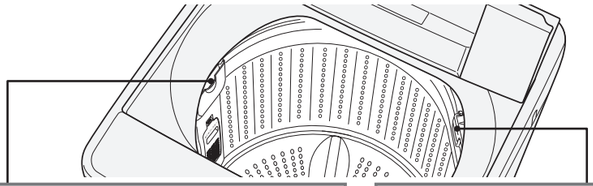
重曹は使用しないでください。故障の原因になります。

洗剤・漂白剤・柔軟剤の入れかた

洗剤・漂白剤・柔軟剤は、指定の投入口に正しく入れてください。
洗剤(粉末・液体)と漂白剤は、同じ投入口です。柔軟剤は、洗剤・漂白剤と投入口が異なりますので注意してください。

●洗剤・漂白剤・柔軟剤は、水量表示に従って、使用する洗剤・漂白剤・柔軟剤の容器に記載されている「使用量の目安」を確認し、適量を投入口に入れてください。→**(P.18)**
●天然粉末石けん、複合石けんを使う場合は、洗剤トレイに入れないでください。
石けん(天然油脂)の入れかた→**(P.22)**
●**タブレット、シート、キューブタイプなどの洗剤を使用する場合は、よく溶かしてから直接、洗濯・脱水槽内に入れてください。**
●**パワージェルボールなどの洗剤は、直接、洗濯・脱水槽に入れてください。**

洗剤トレイ(洗剤・漂白剤投入口)・柔軟剤投入口



洗剤トレイ(洗剤・漂白剤投入口)

洗剤残りを防ぐために

●洗剤を入れ過ぎないでください。
●洗剤トレイがぬれている場合は、乾いた布でふいてから、洗剤を入れてください。
●固まっている洗剤は、砕いてから入れてください。
●粘性の高い液体洗剤は、水で薄めてから投入口に流し込んでください。
●洗剤は洗剤トレイの奥に入れてゆっくり閉めてください。洗剤が飛び散る恐れがあります。
●洗剤のこびりつきがあると、洗剤トレイを閉めても洗剤トレイ内に洗剤が残るときがあります。2、3度開閉を繰り返すか、それでも残るときは掃除してください。→**(P.47)**
●衣類の量によっては、洗剤トレイが開けにくい場合があります。このような場合には、衣類を洗剤トレイの反対側によせて、洗剤トレイを開けてください。
●衣類を洗濯・脱水槽に入れるときは、洗剤トレイを閉めてください。開いていると、衣類が引っ掛かり破れる恐れがあります。

●漂白剤は、洗濯物に直接かけないでください。
変色、布破れの原因になります。

柔軟剤投入口

●柔軟剤を入れ過ぎないでください。
流れ出して洗濯物に直接かかり、変色や黒ずみの原因になります。
●柔軟剤を入れたまま長時間放置すると、柔軟剤が固まってしまう場合があります。
●次のような柔軟剤は、においが気になる場合があります。
・香りの強い柔軟剤　・粘性の高いもの
次のことをお試しください。
・柔軟剤の使用量を減らしてください。
・香りの強い柔軟剤以外をお試しください。
・「槽洗浄」コースで、洗濯・脱水槽を洗い流してください。→**(P.52)**
●柔軟剤投入口のお手入れをしたときは、柔軟剤投入口のふたを元に戻してください。
●洗濯機が傾いていたり、給水中に洗濯・脱水槽を傾けたりすると、柔軟剤投入口に水が入る場合があります。

漂白剤の種類

・使用量および使いかたは、漂白剤の表示に従ってください。
・「槽洗浄」コース以外では、塩素系漂白剤を使用しないでください。

酸化型	**酸素系** (ワイドハイター、カラーブライトなど)	色・柄物に使えます。 粉末の場合は、毛・絹には使えません。
	塩素系(ハイターなど)	色・柄物に使えません。
還元型 **(ハイドロハイター)**	水中の鉄分で黄ばんだり、さびがついたりしたときや、ワイシャツのえりの芯地が黄変したときに使います。色・柄物には使えません。	

使用する前に漂白剤の容器に記載してある注意書きをよくご覧になり、正しく使用してください。

洗剤・漂白剤・柔軟剤を入れる手順

1 操作パネルに水量が表示されたあと
洗剤トレイ(洗剤・漂白剤投入口)を開ける
洗剤トレイ(洗剤・漂白剤投入口)の位置を変えたい場合は、洗濯・脱水槽を時計方向に動かしてください。
水量表示から約10秒間、洗濯・脱水槽を回すことができます。

2 **給水する前に、洗剤を洗剤トレイ(洗剤・漂白剤投入口)に入れる**
洗剤量は水量表示に従って入れてください。→**(P.18)**
ふたが開いていると給水されません。
ふたを閉めると給水が始まります。

3 (必要に応じて)
漂白剤を洗剤トレイ(洗剤・漂白剤投入口)に入れる

4 **洗剤トレイ(洗剤・漂白剤投入口)を閉める**
洗剤トレイ(洗剤・漂白剤投入口)を「カチッ」と音がするまでしっかり閉めてください。
洗剤トレイ(洗剤・漂白剤投入口)が開いたまま運転すると、破損したり、洗濯物を傷める場合があります。

5 (必要に応じて)
柔軟剤投入口のふたを開け、柔軟剤を入れる(最大40mL)

6 **柔軟剤投入口のふたを閉める**
柔軟剤投入口のふたをしっかり閉めてください。
柔軟剤投入口のふたを開けたまま運転すると、破損したり洗濯物を傷める場合があります。

黒ずみ・黄ばみの原因

・洗剤が少な過ぎたり、洗濯物を入れ過ぎたりすると、汚れ落ちがわるくなります。
・柔軟剤を入れ過ぎると、洗濯運転を繰り返すごとに柔軟剤が洗濯物に蓄積しやすくなります。
黒ずみ・黄ばみを直したいときは、下記をお試しください。
洗濯物を傷める場合もありますので、洗剤・漂白剤の注意書きや洗濯物の取扱い表示などを確認してください。
状態によっては完全に直せない場合があります。
・３倍濃度の洗剤液に一晩つけ置きしたあと、洗濯してください。
・白物は塩素系漂白剤または還元型漂白剤(ハイドロハイター)、色・柄物は酸素系漂白剤で漂白(洗面器などに短時間のつけ置き)してください。

石けん（天然油脂）の入れかた

天然粉末石けんや複合石けんなどの石けん(天然油脂)は、次の方法でよく溶かしてから、
洗濯・脱水槽に直接入れてください。洗剤トレイに入れないでください。

バケツなどで溶かす

1 バケツなどに、約30℃ぐらいのぬるま湯を約5L用意する

2 ぬるま湯に石けん(天然油脂)を少しずつ入れながら、十分に溶かす

石けん(天然油脂)が固まったり、粉が残ったりしないよう、十分溶かします。

3 洗濯物を入れ、コースを選ぶ

4 スタート 一時停止 を押し、運転する

5 溶かした石けん液を洗濯・脱水槽に直接入れ、運転を続ける

洗濯・脱水槽で直接溶かす

1 ⏻ を押し、電源を入れ、洗濯 コース を押し、「標準」コースを選ぶ

2 水量 洗い を押し、水量「30L」、洗い「3分」を設定する

3 スタート 一時停止 を押し、運転する

4 給水後、かくはんが始まったら、スタート 一時停止 を押し、運転を一時停止する

5 石けん(天然油脂)を洗濯・脱水槽に入れ、スタート 一時停止 を押し、運転を再開する

6 運転終了後、洗濯物を入れ、コースを選ぶ

7 スタート 一時停止 を押し、運転する

洗いのとき、あらかじめ水が入っているので、水量が多めになります。

次の場合は石けん(天然油脂)を使用しないでください。

●予約運転のとき

洗濯・脱水槽で固まるおそれがあります。

●「毛布」「ドライ」コースのとき

これらのコースでは、つけおき洗いを行うため、洗剤かすが付着しやすくなり黒ずみや黄ばみの原因になります。

- ●使用量が多過ぎたり、低温の水に直接入れると、完全に溶けない石けんかすが洗濯・脱水槽の内側に付着し、浮き上がって洗濯物を汚すことがあります。
- ●液体石けん(天然油脂)は、水で溶かしたまま放置しないでください。固まるおそれがあります。
- ●石けん(天然油脂)は合成洗剤に比べ洗濯物に残りやすいので、すすぎを十分に行ってください。すすぎが十分でないと黄ばみ・においの原因や変色することがあります。
- ●石けん(天然油脂)は石けんかすが発生しやすいため、1か月に一度を目安に洗濯槽クリーナーを使い、「槽洗浄」コースで洗濯・脱水槽を洗い流してください。→(P.52)
- ●石けん(天然油脂)を使うとき、合成洗剤を約1割混ぜると、石けんかすの発生を抑えることができます。
- ●合成洗剤のみの場合は、「洗濯・脱水槽で直接溶かす」に記載の方法で運転しないでください。泡による弊害が起こる場合があります。

洗濯のりの使いかた

脱水運転終了後の洗濯物に、のり付けするときの手順を説明します。

使用できる洗濯のり

使用できる洗濯のりは、化学合成のり(酢酸ビニール系、PVAc)と表示されているものに限ります。

上記以外の洗濯のりは、故障の原因になります。使用する前に成分表示を確認してください。
成分表にPVA(ポリビニルアルコール)と記載のある洗濯のりは使用しないでください。
十分なのり付けができなかったり、故障の原因になることがあります。

のり付け運転の手順

のりを溶かす

1 ⏻ を押し、電源を入れ、洗濯 コース を押し、「標準」コースを選ぶ

2 水量 洗い を押し、水量「30L」、洗い「3分」を設定する

3 スタート 一時停止 を押し、運転する

4 給水後、かくはんが始まったら スタート 一時停止 を押し、一時停止する

5 洗濯・脱水槽に洗濯のりを直接入れ、スタート 一時停止 を押し、運転を再開する

運転終了後、洗濯のりが溶けたことを確認します。

のり付けをする

6 のり付けしたい洗濯物(1.2kg以下)を入れる

ぬれた洗濯物の量と重さの目安→(P.16)

7 ⏻ を押し、電源を入れ、洗濯 コース を押し、「標準」コースを選ぶ

8 水量 洗い 脱水 を押し、水量「40L」、洗い「6分」、脱水「1分」を設定する

9 スタート 一時停止 を押し、運転する

10 運転終了後、洗濯物を取り出す

●のり付けした衣類は「風脱水」コースで乾燥しないでください。シワの原因になります。

洗濯・脱水槽をすすぐ

短い時間ですすぎたいときに

11 ⏻ を押し、電源を入れ、洗濯 コース を押し、「標準」コースを選ぶ

洗剤、洗濯物は入れないでください。

12 水量 を押し、「57L」を設定する

13 スタート 一時停止 を押し、運転する

念入りにすすぎたいときに

11 ⏻ を押し、電源を入れ、便利 を押し、「槽洗浄」コースを選ぶ→(P.52)

洗剤、洗濯物は入れないでください。

12 スタート 一時停止 を押し、運転する

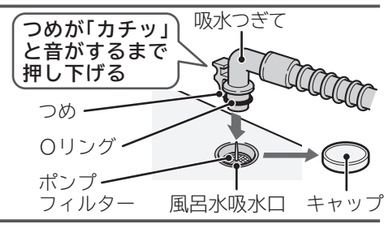
風呂水を使う

ふろ水運転をするときは、付属品のお湯取ホースとクリーンフィルターを取り付けます。

お湯取ホースの準備

1 キャップを外し、吸水つぎてを、風呂水吸水口に差し込む

- ●吸水つぎてを上に持ち上げて抜けないことを確認してください。
- ●Oリングを外したり、傷つけたりしないでください。
  外すと空気が入り込み、吸水されなくなります。
- ●ポンプフィルターを中に押し込まないように注意してください。
- ●入りにくい場合は、Oリングに少し水をつけ、回しながら押してください。

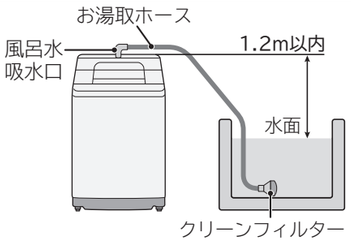


2 お湯取ホースにクリーンフィルターを回しながら取り付ける

お湯取ホースの内側を水でぬらすと差し込みやすくなります。

3 クリーンフィルターを浴槽に入れる

- ●風呂水吸水口から浴槽水面までの高さは、1.2m以内にしてください。
- ●付属のお湯取ホースは約4mです。お湯取ホースが短いときは、別売り部品のお湯取ホースをお買い求めください。**→(P.62)**
- ●お湯取ホースが長いときは、クリーンフィルター側を切って長さを調節し、再度クリーンフィルターを取り付けてください。



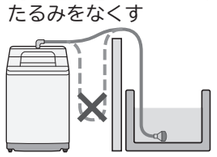
クリーンフィルターを外すときは、下記手順に従ってください。

お湯取ホース使用時のご注意(お湯取ホースが正しく取り付けられていることを確認してください)

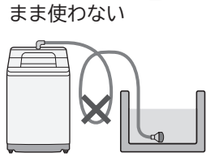
お湯取ホースを傷付けないでください。

- ●浴室などのドアではさみ込まないでください。
- ●無理な力をかけないでください。
- ●金属部分とのこすれに注意してください。

高い壁を越えるときは、たるみをなくす

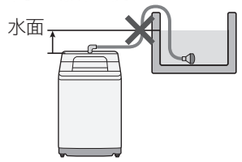


お湯取ホースは巻いたまま使わない



クリーンフィルターが浮き上がらないようにする

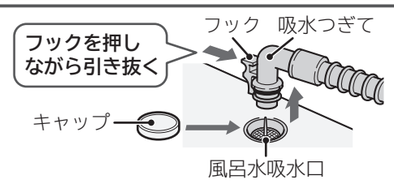
風呂水吸水口よりも浴槽の水面が高い場所で使わない



お湯取ホースの片付け

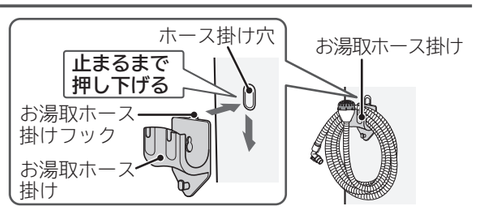
1 クリーンフィルターを浴槽から出し、吸水つぎてを本体から取り外し、お湯取ホース内の水を抜く
(風呂水吸水口にキャップを付ける)

洗濯物を洗濯・脱水槽から先に取り出してください。
お湯取ホース内の残水が洗濯・脱水槽に逆流して、洗濯物をぬらすおそれがあります。



2 お湯取ホース掛けを本体に取り付け、クリーンフィルターを上向きにしてお湯取ホースを掛ける

- ●クリーンフィルター内の水を抜いてください。
  内部に残っている水がこぼれて床面をぬらすおそれがあります。
- ●お湯取ホース掛けは、本体の左右どちら側でも取り付けられます。



ふろ水運転の設定

水栓(蛇口)を開けてください。風呂水ポンプで風呂水を吸い上げるために、水道水(呼び水)を使用します。また、途中で風呂水がなくなったときにも水道水を使います。

ふろ水運転の設定手順

1 水栓(蛇口)を開け、(⏻)を押し、電源を入れる

2 (洗濯コース)を押し、コースを選ぶ

「ドライ」コースは、ふろ水運転の設定ができません。

3 (ふろ水)を押し、ふろ水運転したい行程の表示を点灯させる

押すごとに表示が切り替わります。
清水すすぎを設定する**→(P.26)**

次のようなふろ水運転の設定はできません。
・洗い行程を水道水に設定した場合のすすぎ行程
・すすぎ3回目は、ふろ水設定できません。

パネルの表示	行程内容
洗い / すすぎ1 「洗い」のみ点灯 / すすぎ2	「洗い」のみ風呂水吸水します。
洗い 「洗い」 / すすぎ1 「すすぎ1」点灯 / すすぎ2	「洗い」と「すすぎ1」(1回目)を風呂水吸水します。
洗い / すすぎ1 全点灯 / すすぎ2	「洗い」から「すすぎ2」(2回目)まで風呂水吸水します。
洗い / すすぎ1 全消灯 / すすぎ2	風呂水吸水しません。

4 (スタート 一時停止)を押し、運転する

- ●設定を変更するときは、同じ操作を行ってください。
- ●工場出荷時は「ふろ水運転の設定を記憶しない」が設定されています。
  変更した内容を次回運転時まで記憶させたい場合は、「ふろ水運転の設定を記憶する」に切り替えてください。**→(P.26)**

運転中に変更させる場合

1. 洗いやすすぎの給水中に(スタート 一時停止)を押し、一時停止する
2. (ふろ水)を押し、ふろ水運転したい行程に変更する
3. (スタート 一時停止)を押し、運転を再開する

ふろ水運転中の注意

風呂水の吸水状態により、水道水運転よりも運転時間が長くなることがあります。
ふろ水運転中に風呂水がなくなると、自動で水道水給水に切り替わります。

- ・風呂水ポンプが作動しても、風呂水を吸い上げ始めるまでに1～3分間かかります。
  お湯取ホース内の空気を抜くためです。
- ・運転途中で風呂水がなくなった場合や、正しく風呂水吸水されない場合は、風呂水ポンプが作動してから約12～18分後に自動で水道水給水に切り替わるため、運転時間が長くなります。
  水道水に切り替わったあとの運転は、すべて水道水給水されます。
  自動切り替えを待たずに、手動で水道水給水へ切り替えることもできます。
  (洗いやすすぎ行程で、規定水位に達してから1分間は、切り替えることができません)
- ・風呂水ポンプが運転を開始したあと、お湯取ホース内の空気を抜くため、音が大きくなることがあります。
- ・発泡、ゼリー、とろみタイプの入浴剤を入れた風呂水は使用しないでください。
  吸水されない場合があります。
- ・洗濯物への色移りや変色を防ぐため、入浴剤の注意書きに従ってください。

ふろ水運転の設定を記憶させる手順

ふろ水運転に設定した内容を次回運転時まで記憶する／しないを切り替えることができます。

工場出荷時は「ふろ水運転の設定を記憶しない」が設定されています。

1 ⏻ を押し、電源を入れる

2 洗い すすぎ 脱水 を押し、すべての表示を消す

洗い「なし(表示なし)」、すすぎ「なし(表示なし)」、脱水「なし(表示なし)」を設定します。

3 ふろ水 を3秒以上押す ▶

設定完了を音でお知らせします。
「設定を記憶する」を設定すると、次回電源を入れたときも、ふろ水運転の設定になっています。

設定を記憶しない(工場出荷時)	「ピー」音でお知らせします
⇕	
設定を記憶する	「ピッ」音でお知らせします

4 ⏻ を押し、電源を切る

(電源を切ることで完了となります)

変更した内容は、電源を切っても記憶されています。設定を変更するときは、同じ操作を行ってください。

ふろ水運転の最後に水道水ですすぐ手順（清水すすぎ）

最後のすすぎ行程を「ふろ水」設定した場合、すすぎ行程の最後に自動で水道水のすすぎ運転を行います。

工場出荷時は「清水すすぎの設定なし」が設定されています。

1 ⏻ を押し、電源を入れる

2 ふろ水 を3秒以上押す ▶

受付音のあとも押し続けることで設定が変わります。
設定完了を音でお知らせします。

設定なし(工場出荷時)(清水すすぎは行いません)	「ピッ」音でお知らせします
⇕	
設定あり	「ピー」音でお知らせします

3 ⏻ を押し、電源を切る

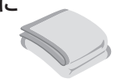
(電源を切ることで完了となります)

変更した内容は、電源を切っても記憶されています。設定を変更するときは、同じ操作を行ってください。

●清水すすぎに使用する水道水は約6Lです。ためすすぎにはなりません。

●最終すすぎに水道水を設定した場合は、清水すすぎは行いません。

運転コースの選びかた

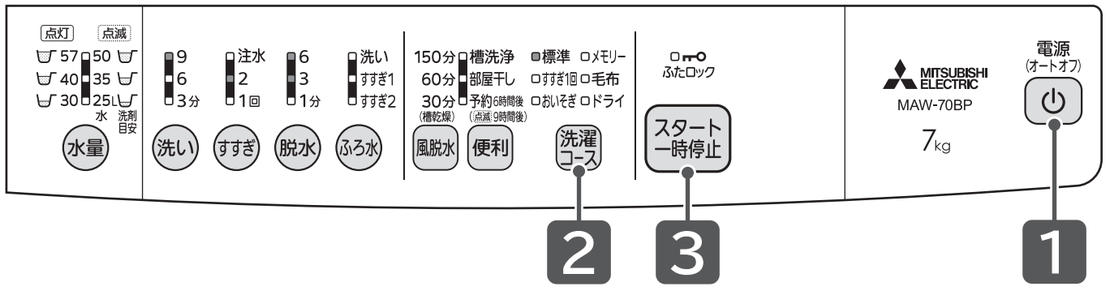
こんなときに(洗濯物の種類)	コース	運転方法（最大洗濯・風脱水容量） 洗濯	部屋干し(洗濯～風脱水)→(P.30)	風脱水	おすすめ洗剤→(P.19)(風脱水、槽乾燥は除く)
普段のお洗濯に ・パジャマ ・肌着など	標準	7kg	7kg	—	粉末合成洗剤または液体合成洗剤
すすぎ１回の専用洗剤でお洗濯したいときに ・ワイシャツ ・パジャマなど	すすぎ1回	7kg	7kg	—	すすぎ1回専用洗剤
軽い汚れを短時間でお洗濯したいときに ・パジャマ ・肌着など	おいそぎ	3.5kg	3.5kg	—	(スピードコース用)粉末合成洗剤または液体合成洗剤
自分だけのコースをつくりたいときに ・普段の洗濯物	メモリー→(P.32)	7kg	7kg	—	粉末合成洗剤または液体合成洗剤
毛布や掛け布団のお洗濯に ・アクリル毛布 ・掛け布団、カーテン ・ベッドパッドなど 	毛布→(P.33)	毛布:4.2kg 掛け布団:1.8kg	毛布:4.2kg 掛け布団:1.8kg	—	液体中性洗剤または液体合成洗剤※
Ⓟ 表示のある衣類のお洗濯に ・スカート ・セーターなど	ドライ→(P.36)	1.2kg	—	—	(ドライマーク用)液体中性洗剤
出かけている間や、夜間にお洗濯したいときに	予約→(P.42)	—(各コースによる)	—	—	粉末合成洗剤
洗濯・脱水槽の汚れやにおいが気になるときに ・洗濯物は入れないでください。	槽洗浄→(P.52)	11時間	—	—	洗濯槽クリーナーまたは衣類用塩素系漂白剤
洗濯・脱水槽を乾かしたいときに ・洗濯物は入れないでください。	槽乾燥→(P.52)	—	—	30分	—
少量の洗濯物の仕上げや、熱に弱い素材(化繊)の洗濯物を風脱水するとき ・ランジェリーなど	風脱水→(P.31)	—	—	化繊：2kg	—

※使用できない洗剤もあります。

洗濯する

洗濯を行うときの手順です。お好みのコースを選ぶことができます。

使いかた



準備 水栓(蛇口)を開け、洗濯物を入れる→(P.14～17)

1 電源(オートオフ)を押し、電源を入れる

2 洗濯コースを押し、コースを選ぶ

押すごとにコースが選べます。また、各機能の設定・解除ができます。

3 スタート一時停止を押す

洗濯物の量が自動計測され、水量が表示されます。→(P.18)
洗濯・脱水槽にあらかじめ水が入っている場合や、「毛布」「ドライ」コースは自動計測されません。

4 水量表示に従って、
洗剤、漂白剤、柔軟剤を入れてふたを閉める→(P.18～21)

ふたが開いていると給水されません。
ふたを閉めると給水が始まります。
水量表示後にふたを閉める動作がない場合は、水量表示の約1分後に給水が始まります。

5 運転終了後、洗濯物を取り出し、
糸くずフィルターをお手入れする→(P.46)

⚠注意

禁止

脱水異常振動によるけがを防ぐために→(P.6)

- **防水性のマット・シートや衣類、足ふきマット、玄関マットなど硬くて厚いもの、水を通しにくい繊維製品、カーペットは、洗い・すすぎ・脱水・風脱水をしないでください。**
- **毛布など大物の洗濯物を折りたたんだまま重ねた状態で洗濯をしないでください。**
- **一辺が40cm以上の大きな洗濯ネットを使用しないでください。**
  脱水時の異常振動により、洗濯物が飛び出したり、衣類が損傷したり、本体や周囲の壁や床などを破損するおそれがあります。

各機能の設定・解除

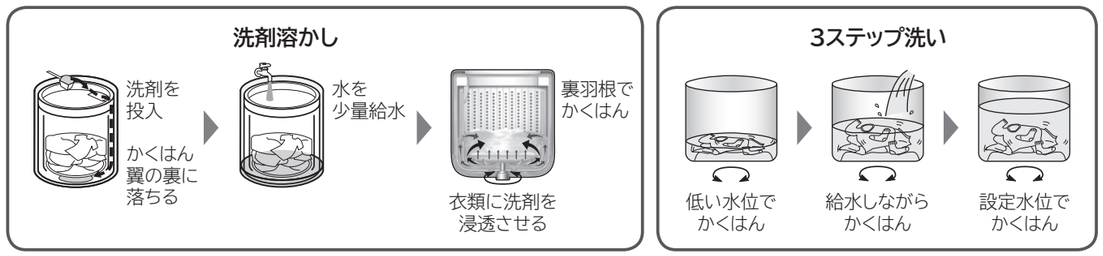
「使いかた」の手順でコースを選んだあと、行程の変更→(P.38)や各機能の設定・解除ができます。
お好みに合わせて設定してください。（コースによっては変更・設定できないこともあります）

コース	ふろ水運転 →(P.24)	予約 →(P.42)	部屋干し →(P.30)	ほぐし脱水 →(P.45)
標準	○	○	○	○
すすぎ1回	○	○	○	○
おいそぎ	○	○	○	○
メモリー	○	○	○	○
毛布	○	○	○	―
ドライ	―	―	―	―

○‥‥設定可能　　―‥‥設定不可

「洗い」行程動作について（毛布コースはP.35、ドライコースはP.37）

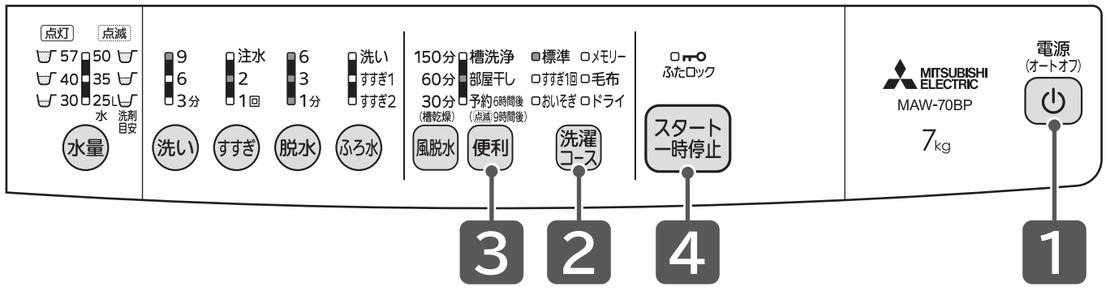
洗剤をよく溶かし洗浄力を高めるために、低い水位から段階的にかくはんと給水を繰り返して設定水位まで上げていきます。このため、設定水位に達して「洗い」が始まるまでに時間がかかります。
(最大で10分程度かかります)



部屋干し(洗濯～風脱水)する

洗濯から風脱水までを行うときの手順です。お好みのコースを選ぶことができます。

使いかた



準備 水栓(蛇口)を開け、洗濯物を入れる→(P.14～17)

1 (⏻) を押し、電源を入れる

2 洗濯コース を押し、コースを選ぶ

押すごとにコースが選べます。
「ドライ」コースは部屋干しの設定ができません。
お好みの設定で運転する→(P.38)

3 便利 を押し、「部屋干し」を選ぶ

脱水のランプが全て点灯し、最後の脱水の時間が30分になります。

・設定を解除するときは、便利 を押し、「部屋干し」を消灯してください。

4 スタート 一時停止 を押す

洗濯物の量が自動計測され、水量が表示されます。→(P.18)
洗濯・脱水槽にあらかじめ水が入っている場合や、「毛布」コースは自動計測されません。

5 水量表示に従って、
洗剤、漂白剤、柔軟剤を入れてふたを閉める→(P.18～21)

6 運転終了後、洗濯物を取り出し、
糸くずフィルターをお手入れする→(P.46)

⚠注意

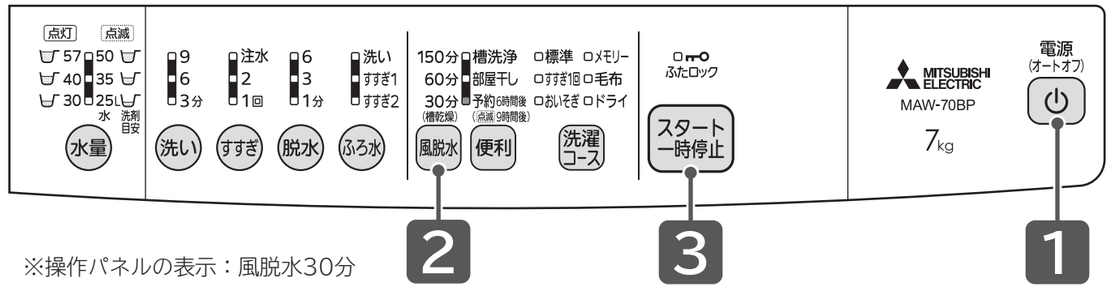
禁止

異常振動によるけがを防ぐために→(P.6)
- 防水性のマット・シートや衣類、足ふきマット、玄関マットなど硬くて厚いもの、水を通しにくい繊維製品、カーペットは、洗い・すすぎ・脱水・風脱水をしないでください。
- 毛布など大物の洗濯物を折りたたんだまま重ねた状態で洗濯をしないでください。
- 一辺が40cm以上の大きな洗濯ネットを使用しないでください。
  異常振動により、洗濯物が飛び出したり、衣類が損傷したり、本体や周囲の壁や床などを破損するおそれがあります。

風脱水する

風脱水のみを行うときの手順です。洗濯は行いません。

使いかた



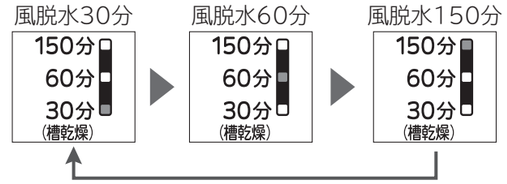
※操作パネルの表示：風脱水30分

準備 洗濯物を1枚ずつ広げ、片寄らないように入れる→(P.14～17)
洗濯物の量と重さの目安→(P.16)

1 (⏻) を押し、電源を入れる

2 風脱水 を押し、30／60／150分から、いずれかの時間を選ぶ

押すごとに時間の表示が切り替わります。



洗濯・脱水槽に水が入っている場合は排水してから運転してください。→(P.39)

3 ふたを閉め、スタート 一時停止 を押す

4 運転終了後、洗濯物を取り出す

⚠注意

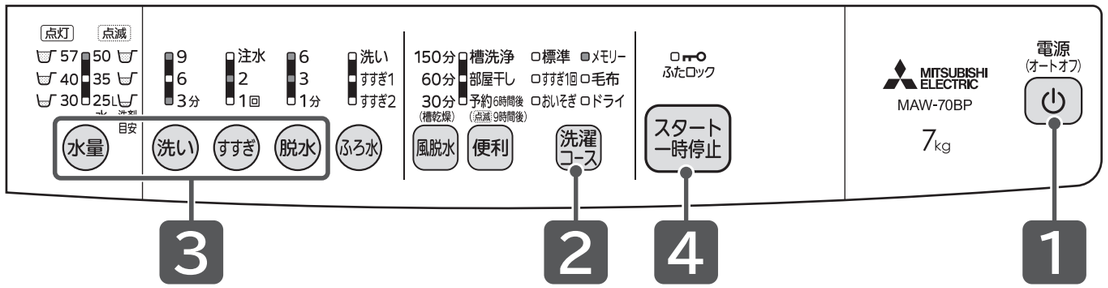
禁止

異常振動によるけがを防ぐために→(P.6)
- 防水性のマット・シートや衣類、足ふきマット、玄関マットなど硬くて厚いもの、水を通しにくい繊維製品、カーペットは、洗い・すすぎ・脱水・風脱水をしないでください。
- 毛布など大物の洗濯物を折りたたんだまま重ねた状態で洗濯をしないでください。
- 一辺が40cm以上の大きな洗濯ネットを使用しないでください。
  異常振動により、洗濯物が飛び出したり、衣類が損傷したり、本体や周囲の壁や床などを破損するおそれがあります。

メモリーコースを使う(自分でコースを造る)

お好みの運転内容を記憶させることができます。

使いかた



準備 水栓(蛇口)を開け、洗濯物を入れる→(P.14～17)

1 (⏻) を押し、電源を入れる

2 (洗濯コース) を押し、「メモリー」コースを選ぶ

3 (水量) (洗い) (すすぎ) (脱水) でお好みの運転内容を設定する

各機能の設定については→(P.29)
運転内容と変更できる内容→(P.40)

4 (スタート一時停止) を押す

スタートボタンを押すと、設定が記憶されます。
「部屋干し」を設定した場合は、選択した内容は記憶されません。

5 水量表示に従って、
洗剤、漂白剤、柔軟剤を入れてふたを閉める→(P.18～21)

6 運転終了後、洗濯物を取り出し、
糸くずフィルターをお手入れする→(P.46)

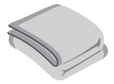
毛布コースで洗濯する

毛布など大物の洗濯物を洗うコースです。
洗うときは、別売り部品の毛布洗いネット(MO-F57)を必ずご使用ください。→(P62)
毛布洗いネットを使用しないで洗濯すると、洗濯物を傷めたり、本体が破損するおそれがあります。
その場合は、保証の対象外になります。
(洗濯物の損傷費用はお客様負担となり、部品の修理は有料となります)

洗濯物の準備

「毛布」コース以外では運転しないでください。洗濯物を傷める場合があります。

洗濯できるもの

	毛布	掛け布団
洗濯できる素材	化繊(ポリエステル、アクリル)または綿	詰め物素材が化繊(ポリエステル)または羽毛
取扱い表示	(液温40℃を限度とし、手洗いができる)表示	詰め物素材が羽毛の場合 (液温40℃を限度とし、手洗いができる) または (液温は30℃を限度とし、洗濯機で通常の洗濯ができる)表示
サイズ容量	毛布(ダブルサイズ) 毛布(シングルサイズ) **4.2kg以下**(合計1枚まで) 	掛け布団(ダブルサイズ) 掛け布団(シングルサイズ) 詰め物の重さが**1.8kg以下**(合計1枚まで)
サイズの目安(約)	ダブル　：幅180cm×長さ210cm シングル：幅146cm×長さ210cm	ダブル　：幅190cm×長さ210cm シングル：幅150cm×長さ210cm
おすすめ洗剤	**液体合成洗剤または液体中性洗剤** 使用できない洗剤もありますので、洗剤の容器に記載されている内容を確認してください。 液体洗剤以外は使用しないでください。粉末洗剤は溶け残るおそれがあります。	

そのほか、 表示のベッドパッド、タオルケット、レースのカーテン(4.2kg以下)も洗濯できます。

掛け布団のえり口など汚れのひどい部分は、あらかじめ液体洗剤または部分洗い用洗剤を塗布して汚れを落としてください。

洗濯できないもの

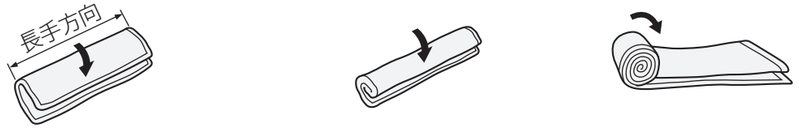
	毛布	掛け布団
洗濯できない素材	●羊毛(ウール)やカシミヤ素材のもの ●電気毛布 洗濯できる電気毛布は、電気毛布の取扱説明書に従って洗濯してください。	●詰め物素材が羊毛(ウール)のもの ●カバー材質が絹のもの ●カバー材質が防水性のもの

毛布洗いネットの使いかた

入れかた

1 **毛布・掛け布団を折り、毛布洗いネットに入れる**

1 長手方向を半分に折る　**2** さらに半分に折る　**3** 毛布の端から巻く

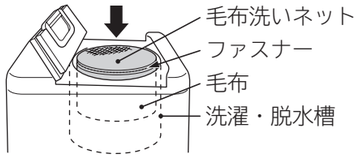


4 毛布洗いネットを毛布のへりからかぶせる　**5** ファスナーを閉める

比較的軽い毛布 (約 2.2kg 以下) は、毛布の端から少しずつ毛布洗いネットに均等に入れてください。
折りたたんだり、丸めたりするとバランスをくずして異常振動が発生するおそれがあります。

2 **毛布洗いネットに入れた毛布・掛け布団を洗濯・脱水槽に入れる**

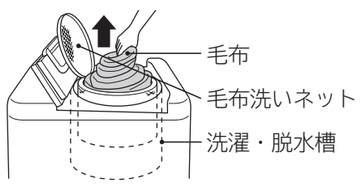
ファスナーを上にして洗濯・脱水槽に入れます。



取り出しかた

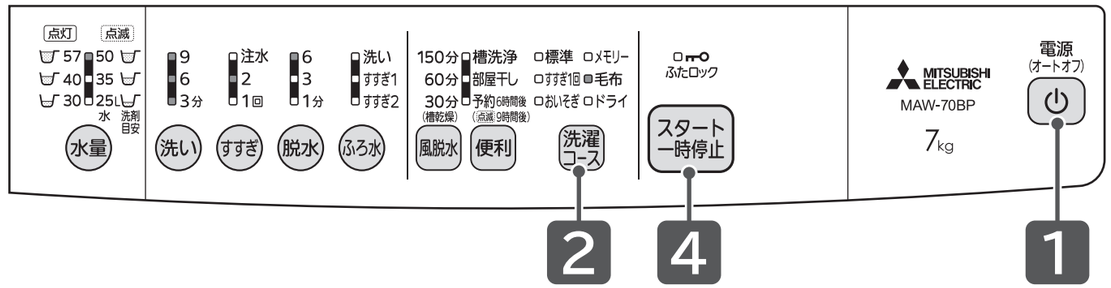
毛布洗いネットに入れた毛布・掛け布団を取り出す

ファスナーを開け、毛布の中央部を引き上げます。



●毛布洗いネットを洗濯・脱水槽に入れるときは、指や手を挟まないように注意してください。
　また、洗剤トレイに当たらないように注意してください。外れたり、破損するおそれがあります。
●厚手の毛布や毛足の長い毛布など、毛布洗いネットに入らないものは洗濯できません。

使いかた



準備　水栓(蛇口)を開け、毛布洗いネットに入れた毛布などを入れる→(P.34)

1　⏻ を押し、電源を入れる

2　洗濯コース を押し、「毛布」コースを選ぶ

各機能の設定については→(P.29)
「水量」「脱水」を変更する→(P.38、40)

3　水量表示に従って、
液体洗剤、柔軟剤を入れてふたを閉める→(P.18～21)

4　スタート 一時停止 を押す

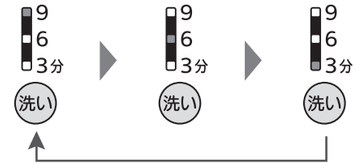
洗濯物の量は、自動計測されません

5　運転終了後、洗濯物を取り出し、
糸くずフィルターをお手入れする→(P.46)

●「毛布」コースの洗いの動作
「毛布」コースは、洗い時につけおきする行程があるため、洗濯・脱水槽の動作が休止する時間帯があります。

給水後、弱いかくはん(24分30秒)→30秒休止

●「毛布」コース洗い運転中の表示



毛布・掛け布団の干しかた

風通しのよいところで自然乾燥させます。

●毛布　　：湿っているうちにブラシで一方向に毛並みをそろえると、きれいに仕上がります。
●掛け布団　　：時々裏返すと乾きやすくなります。また、詰め物をつまんでほぐすとふっくら仕上がります。
●羽毛の掛け布団：詰め物の片寄りをほぐしてから干すとふっくら仕上がります。
　羽毛の変質と側地の傷みを防ぐため、シーツなどを上に掛けて干してください。

ドライコースで洗濯する

(液温は40℃を限度とし、手洗いができる)表示や、Ⓟ(ドライクリーニングができる)表示の衣類を洗うコースです。

洗濯物の準備

洗濯できるもの

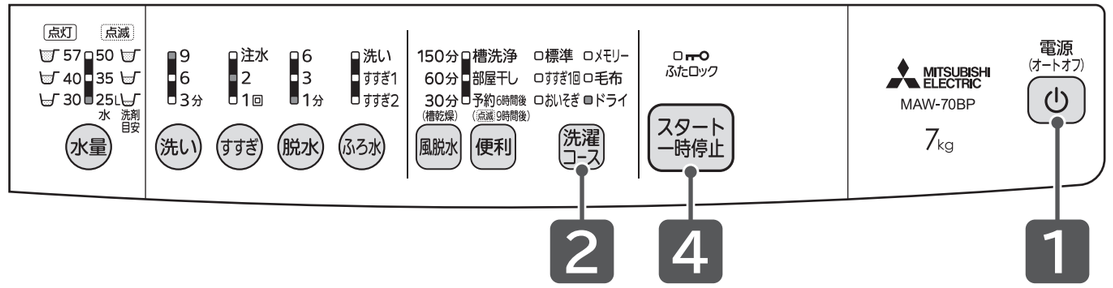
取扱い表示	●(液温は40℃を限度とし、手洗いができる)表示 ●Ⓟ(パークロロエチレンおよび石油系溶剤によるドライクリーニングができる)表示 ●Ⓟ(パークロロエチレンおよび石油系溶剤による弱いドライクリーニングができる)表示 上記の取扱い表示があっても、洗えないものがあります。→(P.14)
容量	**1.2kg以下**
使用する洗剤	**液体中性洗剤** 液体洗剤以外は使用しないでください。粉末洗剤は溶け残るおそれがあります。

お湯や風呂水の残り湯は使用しないで、水道水を使用してください。
洗濯物の縮みや、入浴剤の色が移るおそれがあります。

洗濯できないもの

取扱い表示	●(家庭での洗濯禁止)表示のもの ●Ⓕ(石油系溶剤によるドライクリーニングができる)表示 ●Ⓕ(石油系溶剤による弱いドライクリーニングができる)表示 のものは、洗濯機で洗濯できません。

使いかた



準備 水栓(蛇口)を開け、洗濯物を入れる→(P.36)

1 (電源)を押し、電源を入れる

2 洗濯コースを押し、「ドライ」コースを選ぶ

「水量」を変更する→(P.38、40)

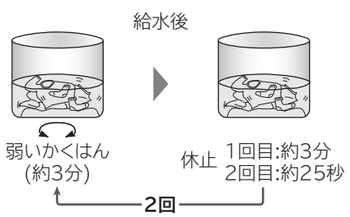
3 水量表示に従って、
液体洗剤、柔軟剤を入れてふたを閉める→(P.18～21)

4 スタート一時停止を押す

洗濯物の量は、自動計測されません。

5 運転終了後、洗濯物を取り出し、
糸くずフィルターをお手入れする→(P.46)

●「ドライ」コースの洗いの動作
「ドライ」コースは、洗い時につけおきをする行程があるため、動作が休止する時間帯があります。



お好みの設定で運転する

各行程のボタンを押すごとに、設定を変更することができます。
コースによっては設定を変更できないこともあります。→(P.40)

水量・洗い・すすぎ・脱水の設定を変更する

ボタン	パネル表示
水量	(25L)→(30L)→(35L)→(40L)→(50L)→(57L)→(無表示) 点灯 57 40 30 / 点滅 50 35 25L 水 洗剤目安 洗濯物の量が自動計測されます
洗い	(3分)→(6分)→(9分)→(12分)→(洗いなし) 9 6 3分
すすぎ	(ため1回)→(注水1回)→(ため2回)→(注水2回)→(ため3回)→(注水3回)→(すすぎなし) 注水 2 1回 ・ためすすぎ：水をためてすすぎます。 ・注水すすぎ：水をため、給水しながらすすぎます。
脱水	(1分)→(3分)→(6分)→(9分)→(脱水なし) 6 3 1分

水を足したい場合

洗いやすすぎ中に水を足したいときは、「水量」ボタンを押します。押している間給水します。
(各コースの最高水位以上は給水しません)

「脱水のみ」などの個別運転をする

洗い・すすぎ・脱水のみを設定したり、それぞれを組み合わせて運転することができます。
設定内容は記憶されないので、よく使う運転内容は「メモリー」コースに登録すると便利です。→(P.32)
ここでは、例として「脱水のみ」を行う場合について説明します。

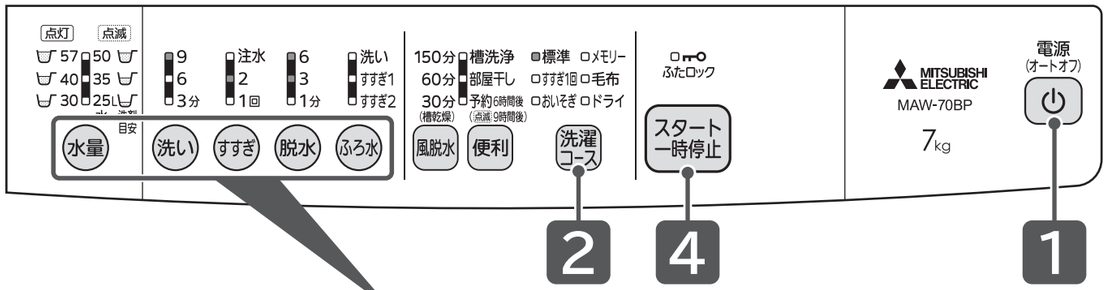
準備 洗濯物を入れる
洗い・すすぎを設定するときは、水栓(蛇口)を開けてください。

1 ふたを閉め、⏻を押し、電源を入れる

2 洗濯コースを押し、「標準」コースを選ぶ

3 脱水を押し、お好みの脱水時間を設定する

4 スタート 一時停止を押し、運転する



運転内容の設定	3 水量	洗い	すすぎ	脱水	ふろ水	備考
脱水のみ				脱水		お好みの脱水時間を設定してください。(1分、3分、6分、9分)
排水のみ				脱水		1分を設定してください。排水後、洗濯・脱水槽が回転します。
洗いのみ	水量	洗い				洗濯・脱水槽に水が残ったまま停止します。
すすぎのみ	水量		すすぎ			洗濯・脱水槽に水が残ったまま停止します。
洗いと**すすぎ**	水量	洗い	すすぎ			洗濯・脱水槽に水が残ったまま停止します。
洗いと**脱水**	水量	洗い		脱水		—
すすぎと**脱水**	水量		すすぎ	脱水		—
水道水をためる	水量			脱水		「脱水」を数回押して、洗い・すすぎ・脱水の表示をすべて消し、お好みの「水量」のみ設定してください。洗濯・脱水槽に水がたまったまま停止します。
風呂水をためる	水量	洗い			ふろ水	洗濯・脱水槽に風呂水がたまったまま停止します。

運転内容と変更できる内容

：標準設定内容　：各ボタンで切り替えできる内容

コース	水量	洗い	すすぎ	
			1回目	2回目
標準	25～57L	9分	回転シャワーすすぎ※1	ためすすぎ
	25～57L	3～12分	ためすすぎ1～3回、注水すすぎ1～3回※2	
すすぎ1回	25～57L	9分	ためすすぎ	—
	25～57L	3～12分	ため、または注水すすぎ	
おいそぎ	25～40L	6分	ためすすぎ	—
	25～57L	3～12分	ためすすぎ1～3回、注水すすぎ1～3回※2	
メモリー	25～57L	12分	ためすすぎ	ためすすぎ
	25～57L	3～12分	ためすすぎ1～3回、注水すすぎ1～3回※2	
毛布	57L	25分（表示は全点灯）	ためすすぎ	ためすすぎ
	25～57L			
ドライ	30L	9分	ためすすぎ	ためすすぎ
	25、30、35L			

脱水	便利	所要時間の目安（実際の時間とは異なります）	
洗濯	部屋干し	洗濯	部屋干し
9分	30分	43分	64分
1～9分		約(20～65分)	約(50～85分)
9分	30分	36分	57分
1～9分		約(20～40分)	約(50～60分)
3分	30分	25分	52分
1～9分		約(20～65分)	約(50～85分)
9分	30分	52分	73分
1～9分		約(20～65分)	約(50～85分)
6分	30分	62分	86分
1～9分		約(50～65分)	約(80～90分)
1分	—	30分	—

※1 風呂水設定時または、すすぎを再設定した場合は、ためすすぎになります。
※2 ためすすぎまたは注水すすぎを「1～3回」まで設定することができます。

所要時間の目安

所要時間の目安は、運転内容を変更した場合、実際の時間と異なります。
●所要時間の目安は給水時間(給水量毎分15L)、排水時間を含みます。
(上表の所要時間の目安は、水道水圧、洗濯物の量、排水条件などにより異なります)
●所要時間の目安時間は、室温20℃、水温20℃で運転した場合です。

コースの内容

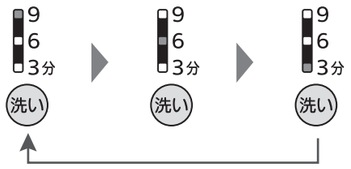
●運転スタート後は、コースの切り替えはできません。
一度電源を切ってから行ってください。
●運転スタート後に運転内容を変更するときは、「一時停止」を押してから変更してください。
「スタート」ボタンを押すと運転が再開されます。「洗い」行程終了後は、運転内容は変更できません。
●給水開始から設定水位に達する間は、各ボタンの変更はできません。

柔軟剤について

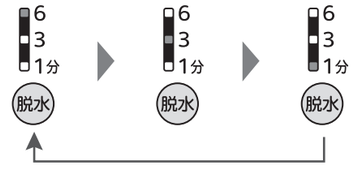
柔軟剤を使用するときは、すすぎ2回までの設定としてください。

表示の見かた

●「毛布」コース／「槽洗浄」
洗い運転中



●「部屋干し」「槽洗浄」
脱水運転中



予約運転をする

運転終了予定時間を6時間後と9時間後に予約することができます。
出かけている間や、夜間に運転させたいときなどに便利です。

設定できないコース

「ドライ」コース

こんなときには

予約内容の確認： 便利 **を押す**
(予約待機中に確認できます。押している間、予約運転の内容が表示されます)

予約の取り消し： ⏻ **を押し、電源を切る**
(電源プラグを抜いたとき、停電したときは、予約運転は取り消されます)

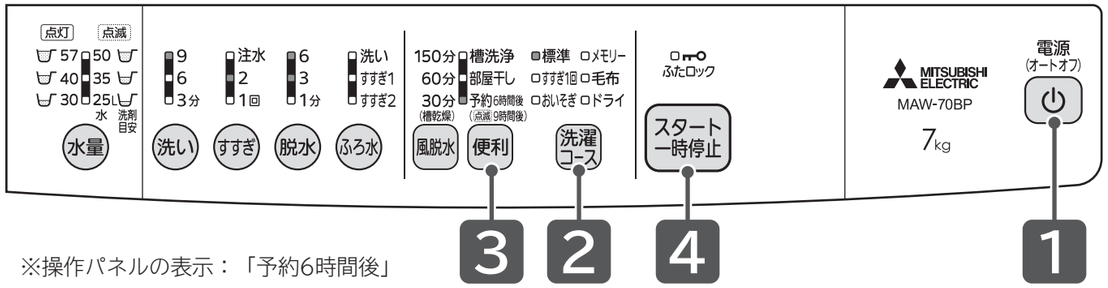
予約の変更　： ⏻ **を押し、電源を切り、初めからやり直す**

衣類の追加　：電源を切らずに、洗濯物を入れる
(予約中の洗濯物の追加は、少なめにしてください。洗濯物を入れ過ぎると
汚れ落ちがわるくなる原因になります)

●洗濯物の量や布質、給水量、水温、気温、排水条件により運転終了予定時間が変わることがあります。
●予約運転するときは、色移りしやすい洗濯物は一緒に洗濯しないでください。
●洗濯物のしわを防ぐため、運転終了後は洗濯物を早めに取り出し干してください。
洗濯物を入れたままにしておくと、においの原因になります。
●予約設定後に設定内容を変更して運転する場合は、一度洗濯・脱水槽内の水を排水してから運転してください。

お願い **ジェルボール型洗剤は使用しないでください。**
洗濯・脱水槽などに水分が残っているとジェルボールのフィルムが溶け、洗剤液が直接洗濯物に
触れる可能性があり、長時間経過するとシミになるおそれがあります。

使いかた



※操作パネルの表示：「予約6時間後」

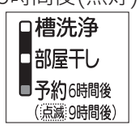
準備 **水栓(蛇口)を開け、洗濯物を入れる→(P.14～17)**

1 ⏻ **を押し、電源を入れる**

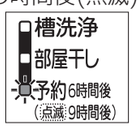
2 洗濯コース **を押し、コースを選ぶ**
押すごとにコースが選べます。
お好みの設定で運転する→(P.38)

3 便利 **を押し、運転終了予定時間を設定する**

6時間後(点灯)



9時間後(点滅)



・設定を解除するときは、
便利 を押し、「予約」を消灯してください。

4 スタート 一時停止 **を押す**
洗濯物の量が自動計測され、水量が表示されます。**→(P.18)**
洗濯・脱水槽にあらかじめ水が入っている場合、洗濯物の量は自動計測されません。

5 水量表示に従って、
洗剤、漂白剤、柔軟剤を入れてふたを閉める→(P.18～21)
洗濯内容を表示したあと、「予約」と選んだコースが点灯します。

6 運転終了後、洗濯物を取り出し、
糸くずフィルターをお手入れする→(P.46)

便利な使いかた

ボタン受付音の設定

ボタンの受付音を、音階でお知らせします。

工場出荷時は「音階」が設定されています。設定を変更するときは

1 (⏻) を押し、電源を入れる

2 (水量) を3秒以上押す

受付音のあとも押し続けることで、
設定が変わります。
設定完了を音でお知らせします。

音階（工場出荷時）	「ピッ」音でお知らせします
単音	「ピー」音でお知らせします

3 (⏻) を押し、電源を切る

(電源を切ることで完了となります)

変更した内容は電源を切っても記憶されています。
設定を変更するときは、同じ操作を行ってください。

終了音の設定

運転の終了を、音(ピーピーピー)でお知らせします。

工場出荷時は「設定あり(音あり)」が設定されています。設定を変更するときは

1 (⏻) を押し、電源を入れる

2 (スタート 一時停止) を3秒以上押す

受付音のあとも押し続けることで、
設定が変わります。
設定完了を音でお知らせします。
設定したあと、電源を入れた際に、
点灯していた洗濯コースがスタート
します。

音あり	設定あり（工場出荷時）	「ピッピッピッ」音でお知らせします
音なし	設定なし	「ピッピッピー」音でお知らせします

3 (スタート 一時停止) を押し、一時停止する

4 (⏻) を押し、電源を切る

(電源を切ることで完了となります)

変更した内容は電源を切っても記憶されています。
設定を変更するときは、同じ操作を行ってください。

脱水後の洗濯物をほぐす（ほぐし脱水）

脱水終了後にほぐす運転を行い(1～2分)、洗濯物を取り出しやすくします。

設定できないコース

「毛布」「ドライ」コース

工場出荷時は「設定あり」が設定されています。設定を変更するときは

1 (⏻) を押し、電源を入れる

2 (洗濯コース) を押し、「毛布」を選ぶ

3 (脱水) を3秒以上押す

受付音のあとも押し続けることで、
設定が変わります。
設定完了を音でお知らせします。

設定あり（工場出荷時）	「ピー」音でお知らせします
設定なし	「ピッ」音でお知らせします

4 (⏻) を押し、電源を切る

(電源を切ることで完了となります)

●変更した内容は電源を切っても記憶されています。設定を変更するときは、同じ操作を行ってください。
●洗濯物の量が約4kg以上の場合は、衣類を傷めることがあるため、「ほぐし脱水」を行いません。
●すすぎ、または脱水から運転を始めた場合は、「ほぐし脱水」を行いません。

洗濯液を2度使う

汚れの少ないものと汚れの多いものを2度に分けて洗うことができます。

1 1回目は汚れの少ないものを洗う

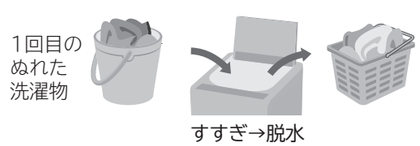
1 「洗いのみ」を設定する→**(P.39)**
2 水量に合わせて洗剤を入れる
3 「洗い」終了後、ぬれたままの洗濯物を取り出す

2 2回目は汚れの多いものを洗う

1 1回目の洗濯液を利用して、お好みのコースを運転する
2 洗濯物に応じた水量を設定する
3 洗濯終了後、洗濯物を取り出す

3 1回目に洗い終わった洗濯物を洗濯・脱水槽に入れる

1 「すすぎと脱水」を設定する→**(P.39)**
2 1回目と同じ水量を設定する
3 運転終了後、洗濯物を取り出す



お手入れをする

長くお使いいただくため、こまめにお手入れをしてください。
お手入れ方法について説明します。

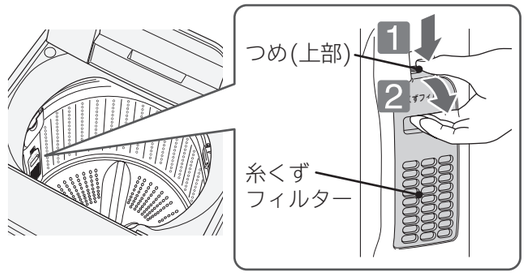
糸くずフィルター

洗濯、洗濯～風脱水運転終了後、毎回お手入れしてください。

1 糸くずフィルターを取り外す

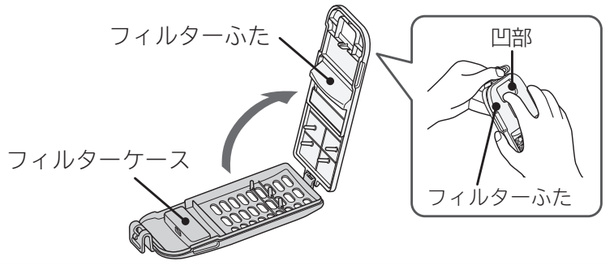
1 糸くずフィルターのつめ(上部)を、押したまま

2 手前に倒し、取り外す



2 フィルターケースを開ける

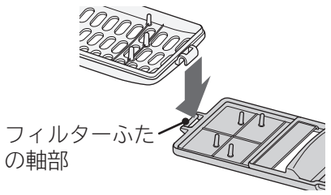
フィルターふたの凹部に指を掛け、開けてください。



3 糸くずフィルター内に付着した糸くずを取り除き、目詰まりを洗い落とす

お手入れ中にふたが外れた場合

フィルターケースをフィルターふたの軸に合わせて、垂直に押し込んでください。

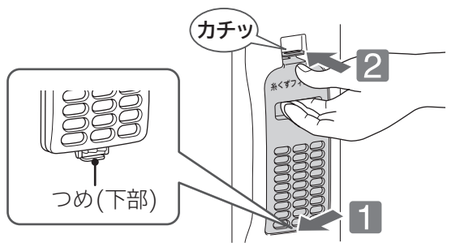


4 フィルターふたを閉め、糸くずフィルターを取り外した位置に取り付ける

1 糸くずフィルターのつめ(下部)を、取り外した位置に入れる

2 糸くずフィルターのつめ(上部)を、「カチッ」と音がするまで押す

確実に取り付けないと、運転中に糸くずフィルターが外れる場合があります。



- ●糸くずフィルターを取り外したあとの洗濯・脱水槽の穴に、硬貨やヘアピンなどを落とさないように注意してください。
- ●糸くずフィルターを外した状態で洗濯をしないでください。洗濯物を傷める場合があります。

お願い 糸くずフィルターは消耗品です。破損したときは、販売店でお買い求めください。→(P.62)

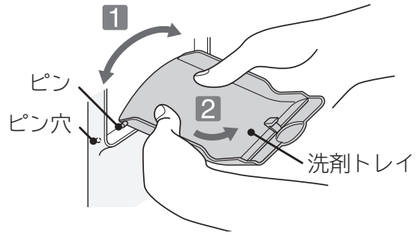
洗剤トレイ（洗剤・漂白剤投入口）

洗剤や漂白剤が付着しているときや、汚れているときは、取り外して洗い流してください。

1 洗剤トレイを取り外す

1 洗剤トレイの中央を下から押し上げ、図のようにたわます

2 ピンを片方ずつピン穴から外す

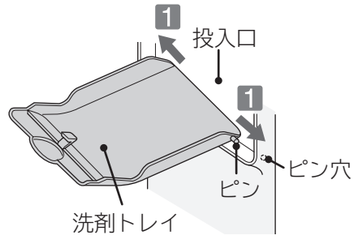


2 汚れを洗い流す

- ●汚れがひどいときは、お湯(約40℃)に約5分間浸し、歯ブラシなどで洗い流してください。
- ●洗い流したあと水気をふき取ってください。

3 洗剤トレイを取り外した位置に取り付ける

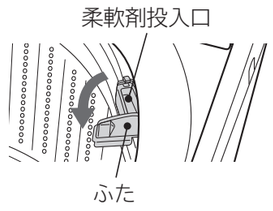
1 洗剤トレイのピンを投入口のピン穴に片方ずつ差し込む



柔軟剤投入口

柔軟剤が付着しているときや、汚れているときは、洗い流してください。

1 柔軟剤投入口のふたを開ける



2 汚れを洗い流す

- ●汚れがひどいときは、歯ブラシなどで掃除してください。
- ●洗い流したあと水気をふき取ってください。

3 柔軟剤投入口のふたを閉める

柔軟剤投入口のお手入れをするときは、同時に柔軟剤投入口のふたのお手入れを行うことをおすすめします。

給水口

水道水の給水時間が長くなったり、洗い表示が全て点滅された場合、お手入れしてください。
水の飛び散りを防ぐため、次の手順で行ってください。

1 水栓(蛇口)を閉める

2 給水ホース内の水を抜く

1 ⏻ を押し、電源を入れる

2 便利 を押し、「槽洗浄」コースを選ぶ

すぐに給水動作が始まるためです。

3 スタート 一時停止 を押し、約1分間運転する

給水ホース内の残水が洗濯・脱水槽に入ります。

4 スタート 一時停止 を押してから一時停止する

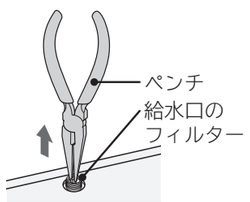
5 ⏻ を押し、電源を切る

3 ユニオンナットを矢印方向に回して、給水ホースを外す

給水ホース内の残水がたれる場合があります。
給水ホースの先にバケツなどの容器を置くか、ぞうきんなどで水を受けてください。

4 給水口のフィルターに詰まったゴミを、歯ブラシなどで取り除く

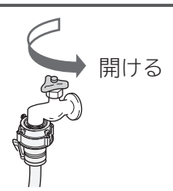
給水口のフィルターをペンチなどで取り外して掃除してください。
お手入れが終わったら、忘れずにフィルターを元の位置に戻してください。取り付けていないと、給水弁の故障の原因になります。



5 給水ホースを給水口に取り付ける →(据付工事説明書P.16)

ユニオンナットは確実に締め付けてください。
緩んでいると、水漏れの原因になります。

6 水栓(蛇口)を開ける

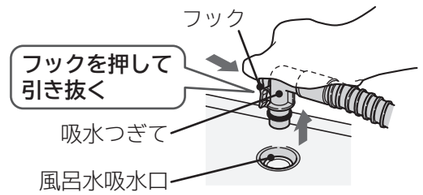


風呂水吸水口

風呂水の吸水時間が長くなったら、お手入れをしてください。

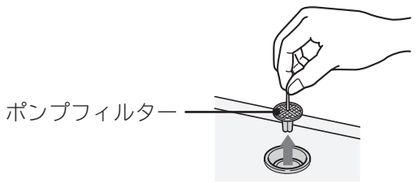
1 吸水つぎてのフックを押して、風呂水吸水口から取り外し、お湯取ホース内の水を抜く

吸水つぎてを取り付けたままお湯取ホースを持ち上げないでください。お湯取ホース内の残水が、洗濯・脱水槽に逆流して洗濯物をぬらすおそれがあります。



2 ポンプフィルターを取り外し、水洗いする

ポンプフィルター中央部の突起を指またはペンチなどでつまみながら引き上げてください。

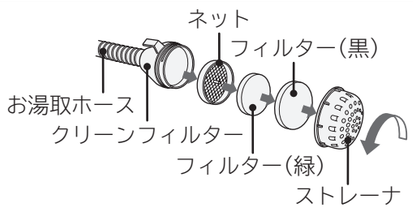


3 ポンプフィルターを風呂水吸水口に取り付ける

お湯取ホース・クリーンフィルター

風呂水の吸水時間が長くなったら、お手入れをしてください。

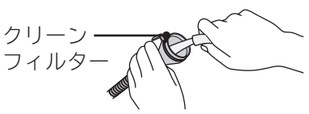
1 ストレーナを矢印方向に回して取り外し、フィルターやネットを取り出す



2 1 フィルター、ストレーナを水洗いする 2 ネットは歯ブラシなどで掃除する

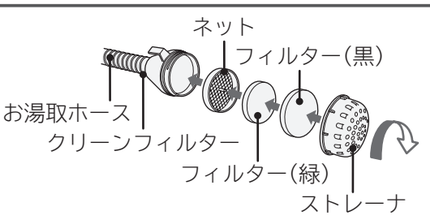
3 お湯取ホースの内部をお手入れする

勢いが強めの水道水をお湯取ホースの中に流し、内部のゴミを洗い流します。



4 水気をふき取り、取り外した位置に取り付ける

フィルター(黒)と(緑)を逆に取り付けると、クリーンフィルターが目詰まりしやすくなり、故障の原因になります。



お願い お湯取ホース・クリーンフィルターは消耗品です。破損したときは、販売店でお買い求めください。**→(P.62)**

排水口・排水トラップ

月に一度を目安にお手入れをしてください。また、すすぎ表示が全て点滅したときにも、お手入れをしてください。

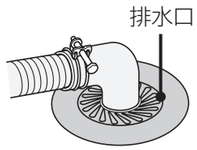
1

1 脱水運転を行い、排水されたことを確認する

「個別運転をする(「脱水のみ」など)」 →(P.39)

2 排水ホースを排水口から外す

排水ホース内の残水が漏れ出る場合があるため、排水口の近くにバケツなどの容器を置くか、ぞうきんなどで残水を受けてください。



2 排水ホース内、排水口の中に残っている糸くずなどを取り除く

別売り部品の洗濯機用排水トラップのお手入れ方法については、洗濯機用排水トラップの取扱説明書をご覧ください。

3 排水ホースを排水口に差し込み、脱水運転を行い、排水されることを確認する

お手入れをしても排水できない場合や、再びすすぎや脱水表示が点滅するときは、「修理を依頼する前に」の「お知らせ表示されたとき」を確認してください。→(P.54)

- ●排水口に糸くずが詰まりやすい場合や、排水口が本体の真下にあり、お手入れしにくい場合は、別売り部品の糸くずボックスをお買い求めいただき、設置することをおすすめします。→(P.63)
- ●排水ホースを排水口から外し、再度差し込む場合は、水漏れの原因になるので先端が排水配管に確実に差し込まれているかを確認してください。→(据付工事説明書 P.9)

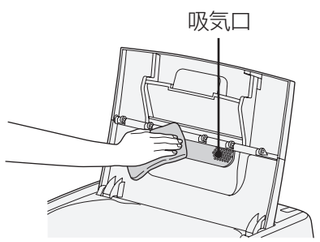
吸気口

ほこりが付着しているときや、汚れているときは、お手入れしてください。

1 ふたを開ける

2 吸気口の汚れを柔らかい布でふき取る

3 ふたを閉める



本体

水滴が付着しているときや、汚れているときは、お手入れをしてください。

- ●本体の水滴や汚れ、ふたなどのプラスチック部品や、金属部品に洗剤や柔軟剤が付着しているときは、柔らかい布でふき取ってください。放置すると傷みやさびが発生し、破損することがあります。
- ●本体各部に直接水をかけないでください。
- ●ふたは、柔らかい布でふき取ってください。薬品などは使用しないでください。周辺の部品がさびたり、破損したりすることがあります。
- ●次のような薬品・洗剤は使用しないでください。
  ・ベンジン　・シンナー　・クレンザー(粉末タイプ)　・アルカリ性洗剤　・弱アルカリ性洗剤　・ワックス
- ●台所用中性洗剤を使用する場合は、使用量の目安まで水で薄めてからご使用ください。
- ●洗剤は原液のままで使用しないでください。

洗濯・脱水槽

汚れているときは、お手入れをしてください。洗濯・脱水槽に付いたさびは、湿った布にクリームクレンザーを含ませてふき取ってください。

- ●金属たわしでこすらないでください。
- ●ステンレス槽はさびにくい性質を持っていますが、次のような場合はさびが発生することがあります。
  ・ヘアピンなどの金属類が長時間接触しているとき
  ・鉄粉や赤さびの混じった水を使用したとき
  ・洗濯・脱水槽内に、塩素系漂白剤や洗剤、柔軟剤がついたまま長時間放置したとき
- ●運転終了後に、給水経路に残った水が注水口から垂れる場合がありますので、柔らかい布でふき取ってください。
- ●汚れやにおいが気になるときは、「槽洗浄」コースを運転してください。→(P.52)
- ●洗濯・脱水槽を乾かしたいときは、「槽乾燥」コースを運転してください。→(P.52)
- ●次のような薬品・洗剤は使用しないでください。
  ・ベンジン　・シンナー　・クレンザー(粉末タイプ)　・アルカリ性洗剤(原液)　・弱アルカリ性洗剤(原液)
  ・ワックス

槽洗浄・槽乾燥コースでお手入れをする

洗濯・脱水槽の汚れやにおいが気になるときにおすすめのコースです。

コースの使い分け

コース	こんなときに	運転時間	風呂水吸水
槽洗浄	洗濯・脱水槽の汚れやにおいが気になるとき	11時間	設定できる
槽乾燥	洗濯・脱水槽を乾かしたいとき	30分	設定できない

衣類は入れないでください

槽洗浄コース

洗濯・脱水槽の汚れやにおいが気になるときに使用してください。洗濯槽クリーナーなどを使い、洗濯・脱水槽に蓄積された石けんかすや汚れを洗い落とし、約30分間脱水してにおいを取ります。

●洗濯・脱水槽の動作

洗い（給水され、かくはん(約15分)する） ▶ 休止（約600分） ▶ すすぎ2回（排水して、脱水後、ためすすぎをする） ▶ 排水（排水する） ▶ 脱水（約30分間脱水する(槽乾燥)）

一般的に長期間使用すると、石けんかすの蓄積や汚れなどにより、においが発生しやすくなります。
1～2か月に一度程度を目安に槽洗浄運転をおすすめします。洗濯物への糸くず付着が気になるときも使用してください。この場合は、洗濯槽クリーナーは必要ありません。

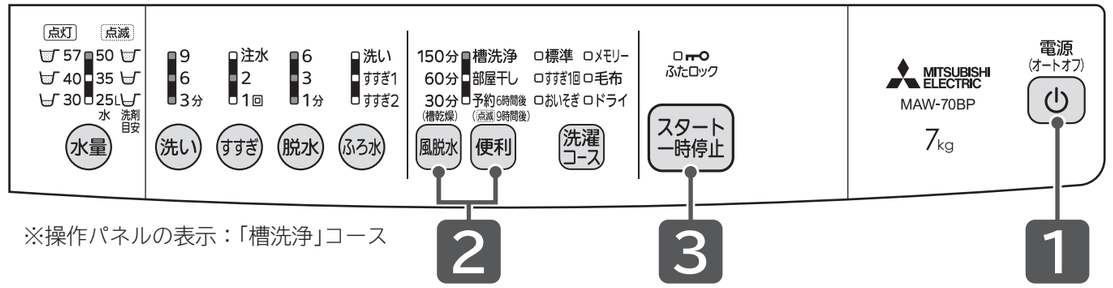
洗濯槽クリーナーなどを使用する場合

●必ず換気をしてください。
●衣類用塩素系漂白剤(「ハイター」など)または、洗濯槽用塩素系漂白剤を使用してください。
●しっかり洗浄したいときは、洗濯機専用の洗濯槽クリーナー「防食剤配合塩素系漂白剤」(例：洗濯槽クリーナーSK-1・別売り部品)を使用してください。→(P.62)
●洗濯槽クリーナーや各種の漂白剤に記載の使用上の注意や使用量をよくご覧になり、使用してください。
●使用量が表示されていない場合は、約500mLを使用してください。
●酸素系漂白剤や台所用漂白剤は使用しないでください。
泡が多量に発生し、本体の故障や水漏れの原因になります。
●洗濯・脱水槽の中に入れるときは、本体表面に付着しないように注意してください。
付着した場合は、すぐにふき取ってください。

槽乾燥コース

約30分間、洗濯･脱水槽を脱水運転して乾燥します。

使いかた



※操作パネルの表示：「槽洗浄」コース

「槽洗浄」コースの場合

準備 水栓(蛇口)を開ける
洗濯槽クリーナーなどを使用する場合は、換気をしてください。

1 (⏻) を押し、電源を入れる

2 便利 を押し、「槽洗浄」コースを選ぶ

槽洗浄
槽洗浄
部屋干し
予約6時間後
(点滅)9時間後

洗濯槽クリーナーまたは衣類用塩素系漂白剤を直接洗濯・脱水槽に入れる。
本体表面に付着しないように注意してください。
付着した場合は、すぐにふき取ってください。
風呂水を使用する→(P.24)

3 ふたを閉め、スタート 一時停止 を押す

4 運転終了後、
糸くずフィルターをお手入れする→(P.46)

「槽乾燥」コースの場合

準備 水栓(蛇口)を開ける必要はありません

1 (⏻) を押し、電源を入れる

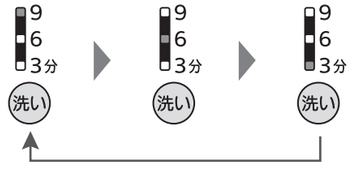
2 風脱水 を押し、「槽乾燥 30分」コースを選ぶ

槽乾燥30分
150分
60分
30分
(槽乾燥)

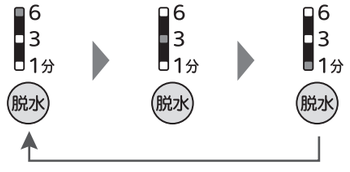
「風脱水30分」と「槽乾燥30分」は同じ表示です。
洗濯・脱水槽に水が入っている場合は、排水してから運転してください。→(P.39)

3 ふたを閉め、スタート 一時停止 を押す

●「槽洗浄」洗い運転中の表示



●「槽洗浄」脱水運転中の表示



修理を依頼する前に

お知らせ表示されたとき

運転の途中で停止した場合は、表示の点滅とブザーでお知らせします。

下の表の「直しかた」に従って運転をしてください。
お知らせ表示されたまま12時間以上放置すると、自動で電源が切れます。
一時停止の状態で1時間以上放置すると、自動で電源が切れます。

お知らせ表示と内容	直しかた		
給水されません	スタート 一時停止 を押して一時停止	●水栓(蛇口)を開けてください。 ●給水口のフィルターのお手入れをしてください。**→(P.48)** ●断水していませんか。 ●水道や給水ホースが凍結していませんか。**→(P.61)**	スタート 一時停止 を押して運転開始
排水されません	スタート 一時停止 を押して一時停止	洗濯・脱水槽および排水ホース内に残水がある場合があります。脱水運転を行い、排水されたことを確認後、以下を行ってください。 ●排水口、排水トラップ、排水ホースのお手入れをしてください。**→(P.50)** ●排水ホースを正しく取り付けてください。**→(据付工事説明書 P.9、10)** ・つぶれたり、凍結していませんか。 ・排水ホースを倒していますか。 ・先端が水につかっていませんか。 ・途中15cm以上高くなっていませんか。 ●延長用ホースを付けている場合、排水ホースを2m以下にしてください。	スタート 一時停止 を押して運転開始
脱水されません	スタート 一時停止 を押して一時停止	●洗濯物が片寄らないように、洗濯・脱水槽内の外側に均一に入れ直してください。**→(P.17)** ●タオルケットやジーンズなどの厚手の洗濯物や、洗濯ネットに入れた洗濯物は、ほかの洗濯物を2、3枚追加してください。 ●シーツなど大物の洗濯物は、洗濯物の量を減らしてください。 ●水準器の気泡が円の中に入るように、脚キャップで高さを調節してください。**→(据付工事説明書 P.11)**	確認後 スタート 一時停止 を押して運転開始
ふたが開いています		ふたを閉めてください。 洗濯・脱水槽が回転するときは、危険防止のため、ふたが開かないようにふたがロックされます。 **→(P.13)**	ふたを閉めると運転再開
ふたがロックされません フタロックが解除されません	スタート 一時停止 を押して一時停止	ふたの下に異物が入っていませんか。	確認後 スタート 一時停止 を押して運転開始
脱水されません	スタート 一時停止 を押して一時停止	●排水ホースを正しく取り付けてください。「排水されません」(すすぎが点滅)の直しかたを確認してください。 ●脱水異常や泡が多量に発生しているときは、1度すすぎを行い脱水をしてください。**→(P.39)**	確認後 スタート 一時停止 を押して運転開始

次のような場合は使用を中止し、修理を依頼してください。→(P.67)
●上記のお知らせが表示された場合、「直しかた」の項目を確認しても、何度も繰り返し表示される場合。
●上記以外のお知らせが表示された場合、電源を一度切り、再度電源を入れ直しても何度も繰り返し表示される場合。

こんな音がしたとき

次のような場合に発生する音は、故障ではありません。

こんな音がしたときは		音の原因(故障ではありません)
洗剤を投入しているとき	カチッ シュー	排水モーターの音です。
洗いまたはすすぎをしているとき	カチャ	洗い運転と、すすぎ前の脱水運転とを切り替えるときの音です。
	ブーン・カラカラ	モーターの運転音です。
		洗濯物の量を計測している音です。
脱水しているとき	ブーン・カラカラ	モーターの運転音です。 ・脱水のとき、洗濯・脱水槽が回転する速度は段階的に速くなるため、回転する速度が上がると、音が大きくなることがあります。
	カチャ	脱水運転に切り替えるときの音です。
	シュー	ブレーキの音です。
ふろ水運転しているとき	ウィーン	風呂水が吸水されるときの、風呂水ポンプの運転音です。 ・風呂水の吸水が始まったとき、風呂水がなくなったとき、正しく風呂水吸水されなくなったときに、風呂水ポンプの運転音が大きくなることがあります。
	ポコ・ポコ	風呂水が吸水されるときに、風呂水ポンプ内の空気が動いている音です。

次のようなときは、修理を依頼される前に、もう一度確認してください。
以下のことをお調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

本体各部

こんなときは		ここを確認してください
❶ 音・振動	**振動や騒音が気になる**	本体が傾いたり、がたついたりしていませんか。 水準器の気泡が円の中に入るように、脚キャップで高さを調節してください。 **→(据付工事説明書P.11)**
		洗濯・脱水槽の中に、硬貨やヘアピンなど異物が詰まっていませんか。 異物を取り除いてください。
		洗濯物が片寄っていませんか。 「一時停止」ボタンを押したあと、洗濯物を洗濯・脱水槽内の外側に均一に入れ直してください。「スタート」ボタンを押すと運転が再開されます。
	給水の音が気になる	給水圧が高いと、音が大きくなる場合があります。 水栓(蛇口)を少ししぼって給水量を調節してください。
❷ 給水口・給水	**給水されない**	ふたが開いていませんか。 ふたが開いていると給水されません。 ふたを閉めてください。
		水栓(蛇口)が閉まっていませんか。 水栓(蛇口)を開いてください。
		給水口のフィルターにゴミが詰まっていませんか。 給水口のフィルターにゴミが詰まっている場合は、お手入れをしてください。**→(P.48)**
		水道や給水ホースが凍結していないかを確認してください。**→(P.61)**
	給水ホースから水漏れする	水栓(蛇口)のねじやワンタッチつぎてに緩みやさびの発生はありませんか。 水栓(蛇口)のねじやワンタッチつぎての緩みやさびの発生により水漏れに至るおそれがあります。水道工事店へご相談することをおすすめします。
	洗剤や水が抜ける	洗濯・脱水槽に洗剤や水が入っていませんでしたか。 洗濯・脱水槽に事前に入れた洗剤や少量の水が入ったまま「スタート」ボタンを押すと、入っていた洗剤や水が抜ける場合があります。

こんなときは		ここを確認してください
③ 排水口・排水	**排水口の周りが泡であふれている、ぬれている**	洗剤や漂白剤は水量表示に従って入れましたか。 洗剤や漂白剤を入れ過ぎると、運転中に泡が多量に発生し、排水口から水が漏れたり、泡があふれたりする場合があります。 洗剤や漂白剤は、水量表示に従って適量を入れてください。**→(P.18)**
④ ふた	**ふたが開かない**	脱水運転中に一時停止しませんでしたか。 脱水運転中に一時停止した場合は、運転が停止してもふたのロックが解除されるまでに1分程度かかる場合があります。 ふたのロックが解除(🔒 が消灯)されてから、ふたを開けてください。
		脱水運転中に電源が切れませんでしたか。 脱水運転中に、停電で電源が切れた場合や、電源プラグを抜いた場合は、電源を入れてから約1分後にふたのロックが解除されます。
⑤ 洗濯・脱水槽	**初めて使用するのに、洗濯・脱水槽や排水ホースがぬれている**	工場出荷時に動作確認のため使用した残水や結露した水分が、洗濯・脱水槽や排水ホースに残っている場合があります。
	洗濯・脱水槽が変色する	水や洗剤に含まれる成分が洗濯・脱水槽の表面に付着して酸化し、変色する場合があります。 気になる場合は、ステンレス専用クリーナーでふき取ってください。
⑥ 風呂水吸水・風呂水吸水口	**浴槽内の風呂水が減らない**	お湯取ホースは正しく取り付けられていますか。 お湯取ホースが正しく取り付けられているか確認してください。**→(P.24)**
		お湯取ホース先端のクリーンフィルターに、ゴミなどが詰まっていませんか。 クリーンフィルターのお手入れをしてください。**→(P.49)**
⑦ 本体	**本体からにおいがする**	購入後しばらくの間、ゴム製品などのにおいがすることがありますが、使用するにつれて、においはなくなります。
		洗濯・脱水槽のお手入れをしていますか。 洗濯・脱水槽に石けんかすの蓄積や黒カビが発生すると、においの原因になります。 2か月に1回程度を目安に、定期的に清掃してください。**→(P.52)** また、ふたを開けておくことをおすすめします。 (子どもが洗濯・脱水槽の中に入らないよう注意してください)
		排水口が詰まっていませんか。 排水口に糸くずなどが詰まっている場合は、お手入れをしてください。**→(P.50)**
	表示部がくもる	ふろ水運転で洗濯・脱水槽が温められ、蒸気や湿気で表示部がくもる場合があります。
	本体内部に物を落とした	床面に落ちていない場合は使用を中止し、お買上げの販売店へご相談ください。 **→(P.67)**
	運転終了後にふたの裏側や衣類投入口周辺に水滴が付く	洗濯・脱水運転中に飛びはねた水滴が付着したものです。 気になる場合は、タオルなどでふき取ってください。
⑧ 運転動作	**洗い運転中に洗濯・脱水槽が停止している(運転が停止している)**	「毛布」「ドライ」「槽洗浄」コースを選択していませんか。 「毛布」「ドライ」「槽洗浄」コースの場合は、洗い時につけおきをする行程があるため、洗濯・脱水槽の動作が休止する時間帯があり、運転が停止しているように感じることがあります。 運転中は「洗い」の時間表示が点灯しています。点灯していることを確認してください。
	運転がスタートしない	水量表示前に洗剤を入れませんでしたか。 水量表示後に約1分間の洗剤投入待機時間を設けており、この待機時間経過後に給水を開始します。待機時間中でもふたの開け閉めにより、給水を開始します。

こんなときは		ここを確認してください
⑧ 運転動作	**すすぎ運転が設定した内容と違う**	洗剤は水量表示に従って入れましたか。 洗剤を入れ過ぎると、泡が多量に発生するため、泡の発生を抑える「注水すすぎ」に変更されます。洗剤は水量表示に従って適量を入れてください。**→(P.18)**
		運転中に洗濯物の片寄りが起きませんでしたか。 洗濯物の片寄りを直すために、「注水すすぎ」運転をします。
		すすぎ運転をふろ水運転に設定していると、自動で「ためすすぎ」に切り替わります。
	脱水運転中にすすぎ運転に戻る	最終脱水時に洗濯物の片寄りが起きませんでしたか。 最終脱水時に洗濯物の片寄りが起きると洗濯物の片寄りを直すために、すすぎ運転に戻ります。
	風脱水ができない	洗濯・脱水槽に水が入っていませんか。 洗濯・脱水槽に水が入っていると、「スタート」ボタンを受け付けません。 洗濯・脱水槽内の水を排水してください。**→(P.39)**
	運転途中で止まっている	テレビやラジオなど、ノイズが出る機器を側に置いていませんか。 テレビやラジオなど、ノイズが出る機器が本体の側にあると電源が切れる場合があります。 一度電源プラグを抜き差ししたあと、再度運転してください。
⑨ 運転時間	**運転時間が長い**	脱水運転中に洗濯物の片寄りが起きませんでしたか。 脱水運転中に洗濯物の片寄りが発生すると、片寄りを直す運転が自動で追加されるため、運転時間が長くなります。
		ふろ水設定をしていませんか。 ふろ水運転を設定している場合は、風呂水の吸水状態により、運転時間が長くなる場合があります。
		注水すすぎを設定していませんか。 注水すすぎが設定されている場合は、ためすすぎよりも運転時間が長くなります。
⑩ 電源	**電源が切れない**	脱水運転中に電源ボタンを押しませんでしたか。 脱水運転中に電源ボタンを押した場合は、電源が切れるまでに1分程度かかる場合があります。
	電源を切るとコースが全て点灯する	洗濯の途中で電源を切りませんでしたか。 洗濯の途中で電源を切ると、排水弁が閉じます。 排水弁が閉じていることをお知らせしています。
⑪ 水量表示	**水量表示が自動で最大に切り替わる**	洗濯・脱水槽に水が入っていませんでしたか。 洗濯・脱水槽に水が入っている状態でスタートすると、洗濯物の量が正確に計測されないため、自動で一番高い水量になります。 洗濯・脱水槽内の水を排水してから、運転を開始してください。**→(P.39)**
	洗濯物の量が少なくても、水量表示が多めに表示される	下記の場合は、洗濯物の量が多めに自動計測されます。 ・湿気を多く含んでいる洗濯物 ・ぬれている洗濯物 ・厚手の洗濯物(重いため) 水量を変更したい場合は、「一時停止」ボタンを押し、水量を変更してください。 「スタート」ボタンを押すと運転が再開されます。
	洗濯物の量が多くても、水量表示が少なめに表示される	化繊、ポリエステルなどの洗濯物は軽いため、洗濯物の量が少なめに自動計測される場合があります。 水量を変更したい場合は、「一時停止」ボタンを押し、水量を変更してください。 「スタート」ボタンを押すと運転が再開されます。**→(P.40)**
		購入後、最初に使用されるときはモーターのなじみ運転の影響により水量表示が少なめに表示される場合があります。 水量を変更したい場合は、「一時停止」ボタンを押し、水量を変更してください。 「スタート」ボタンを押すと運転が再開されます。**→(P.40)**

洗濯物の仕上がりが気になる

こんなときは	ここを確認してください
⑫ 衣類に洗剤残りがある（白いものが残る）	固まった洗剤を洗剤トレイに入れていませんか。 固まった洗剤を入れると、溶け残るおそれがあります。 細かく砕いてから洗剤を入れてください。
	粉末洗剤を洗濯・脱水槽に入れていませんか。 粉末洗剤を洗濯・脱水槽に直接入れると、溶け残るおそれがあります。 洗剤トレイに入れてください。**→(P.20)**
	石けん(天然油脂)を洗剤トレイに入れていませんか。 石けん(天然油脂)は、洗剤トレイに入れないでください。 石けん(天然油脂)を使用する場合は、十分に溶かしてから、洗濯・脱水槽に直接入れてください。**→(P.22)**
	水温が低いと洗剤が溶けにくいことがあります。
	洗剤残りが気になる場合は、下記をお試しください。 ・すすぎ回数を増やす、もしくは「注水すすぎ」に設定してください。**→(P.38)** ・洗剤を液体洗剤に替えてお試しください。
⑬ 糸くずが気になる	色の濃い洗濯物は糸くずが目立ちやすいため、下記をお試しください。 すすぎ回数を増やす、もしくは「注水すすぎ」に設定してください。**→(P.38)**
	洗濯・脱水槽の内部にたい積した固形の汚れ(糸くずなどの固まり)により洗濯物に糸くずが付着することがあります。 「槽洗浄」コースで洗濯・脱水槽を洗い流してから洗濯することをおすすめします。**→(P.52)**
	市販の糸くず防止用洗濯ネットを使用して洗濯することをおすすめします。
⑭ 汚れ落ちがわるい	洗濯物が多く入っていませんか。 洗濯物を入れ過ぎていないかを確認してください。 運転するコースにより、洗濯できる容量が異なります。**→(P.27)**
	洗剤を洗剤トレイに入れていますか。 洗剤を洗濯・脱水槽に直接入れると、高濃度洗剤液を作ることができません。 洗剤は洗剤トレイに入れてください。 ただし、石けん(天然油脂)を使用する場合は、十分に溶かしてから、洗濯・脱水槽に直接入れてください。**→(P.22)**
	洗剤は水量表示に従って入れましたか。 洗剤が少な過ぎると、汚れ落ちが悪くなります。 洗剤は水量表示に従って適量を入れてください。**→(P.18)**
	泥や食べこぼしなど、落ちにくい汚れが洗濯物に付いていませんか。 泥や食べこぼしなど、落ちにくい汚れは下記をお試しください。 ・洗い運転の時間を長く設定してください。**→(P.38)** ・よく使う場合は「メモリー」コースに登録すると便利です。**→(P.32)**
⑮ 黒ずみが気になる	柔軟剤を洗濯物に直接かけませんでしたか。 直接かけると柔軟剤が洗濯物に蓄積して黒ずみの原因になります。 柔軟剤は柔軟剤投入口に入れてください。
	柔軟剤を入れ過ぎていませんか。 柔軟剤を入れ過ぎると黒ずみの原因になります。 柔軟剤は表示に従って適量を入れてください。
	液体洗剤と柔軟剤を一緒に使用すると、柔軟剤が洗濯物に蓄積しやすくなって黒ずみが目立つことがあります。洗剤を粉末洗剤に変えてお試しください。
	ぬれた洗濯物を入れたままにしていませんか。 洗濯物に黒い点々がついている場合は、カビ菌が繁殖している可能性があります。 ぬれた洗濯物を入れたままにしないでください。

こんなときは	ここを確認してください
⑯ 黄ばみが気になる	黄ばみを抑えたいときは、下記をお試しください。 ・すすぎ回数を増やす、もしくは「注水すすぎ」に設定してください。**→(P.38)** ・予備洗いをする、または洗い時間を長く設定してください。**→(P.38)**
⑰ 色移りや変色が気になる	色の濃い洗濯物や新しい色柄物などと一緒に洗っていませんか。 洗濯物の取扱い表示を確認してください。 色の濃い洗濯物など色移りしやすいものは、ほかの洗濯物と分けて洗ってください。 また、長時間のつけ置きはお避けください。
	水道水に水道管のさびが含まれていませんか。 水道水に水道管のさびが含まれていないか、タオルなどで水を通して確認してください。 さびが含まれている場合は、水道工事店へご相談ください。
⑱ 洗濯物がゴワゴワする	パイル素材の洗濯物を洗っていませんか。 タオルなどパイル素材の洗濯物は、パイルが寝てごわつきが感じられることがあります。 柔軟剤をご使用ください。
⑲ においがする	洗濯・脱水槽のお手入れをしていますか。 洗濯・脱水槽に石けんかすが蓄積したり黒カビが発生したりすると、衣類に付着するにおいの原因になります。 2か月に1回程度を目安に、定期的に清掃してください。**→(P.52)**
	洗剤や柔軟剤で、香りの強いものや、粘性の高いものを使用していませんか。 香りの強い洗剤や柔軟剤、粘性の高いものを使用すると、洗濯物に香りが強く残ることがあります。
	入浴剤の入った風呂水を使用していませんか。 ふろ水運転に入浴剤を入れた風呂水を使用した場合、入浴剤の香りが洗濯物に残ることがあります。
	洗濯後の洗濯物を放置していませんか。 洗濯後の洗濯物を放置すると、においの原因になります。運転終了後は、洗濯物をすぐに取り出してください。
	排水口のお手入れをしていますか。 排水口からのにおいを吸い込み、洗濯物にしみつくことがあります。 排水口は月1回程度を目安に、定期的に清掃してください。 においが気になる場合は、別売り部品の「洗濯機用排水トラップ」をお買い求めください。**→(P.63)**
⑳ 風脱水したのに乾きがわるい	タイマー式(定時間)のため、衣類の量・種類、気温・湿度・室内の換気状態、設置環境によって、水分の飛ばし具合に差が出ます。足りない場合は追加運転してください。

もしものとき

給水ホースを外し水抜きをするとき(引っ越しまたは凍結のおそれがあるとき)

給水ホース内の水を抜く

1 排水ホースが排水口に差し込まれているかを確認し、水栓(蛇口)を閉める

2 ⏻ を押し、電源を入れる

3 便利 を押し、「槽洗浄」コースを選ぶ

4 スタート 一時停止 を押し、約1分間運転する

給水ホース内の残水を抜きます。

5 スタート 一時停止 を押し、運転を一時停止する

6 ⏻ を押し、電源を切る

7 給水ホースを外し、下に向ける

給水ホース内の残水がたれる場合があるため、給水ホースの先にバケツなどの容器を置くか、ぞうきんなどで水を受けてください。

洗濯・脱水槽の水を抜く

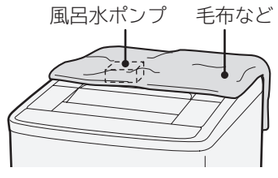
8 お湯取ホースを取り付けている場合は、浴槽からクリーンフィルター(お湯取ホース)を取り出し、吸水つぎてを外す→(P.24)

9 ⏻ を押し、電源を入れる

10 脱水 を押し、脱水「1分」を設定して運転する→(P.39)

洗濯・脱水槽と排水ホース内の水を抜くためです。

※寒冷地での使用など凍結のおそれのある場合は、本体のうしろ側(上部)を毛布などで保温してください。



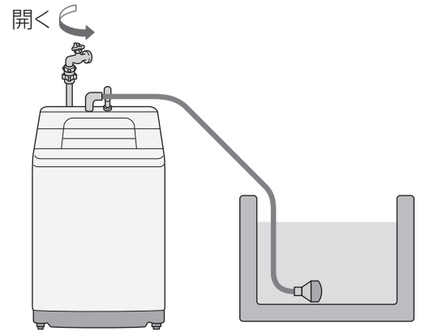
もしも凍結したとき

1 給水ホースを外し、約40℃のお湯につける

お湯取ホース、クリーンフィルターも同様にお湯につけます。

2 約40℃程度のお湯を、洗濯・脱水槽に約5L入れ、約10分間放置する

3 給水ホースおよびお湯取ホースをつなぎ、水栓(蛇口)を開ける



4 ⏻ を押し、電源を入れる

5 スタート 一時停止 を押し、放置する(給水弁を解凍します)

通電時の熱で給水弁が解凍され、給水を始めます。(約20分程度)

6 ⏻ を押し、電源を切る

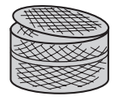
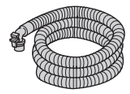
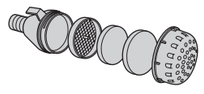
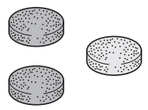
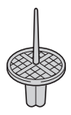
7 次の2点を確認する

(1)電源を入れ、「脱水」を押し、脱水「1分」→(P.39)を設定してスタートし、排水するか。
(2)風呂水が吸水されるか。(「標準」コースでふろ水運転の設定をして運転する)
風呂水ポンプの解凍は時間がかかるため、吸水できない場合は、自動で水道水給水に切り替わります。

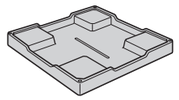
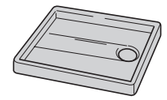
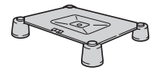
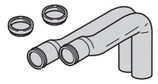
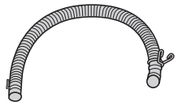
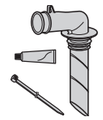
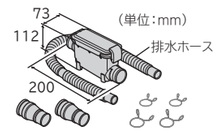
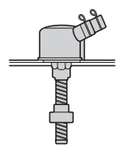
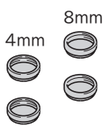
※確認できない場合は、 1 ～ 6 を始めからやり直してください。

別売り部品

お近くの三菱電機ストアか取扱店でお求めください。

こんなときに	別売り部品
毛布コースで洗濯をするとき	**毛布洗いネット（MO-F57）** 
糸くずフィルターが破損したとき	**糸くずフィルター（1個）** （部品番号 NET-KD9SV-001）
付属品のお湯取ホース(約4m)で長さが足りないとき	**お湯取ホース（約7m）** （部品番号 NW-9S3-028） クリーンフィルターは付いていません。 
	お湯取ホース（約5m） （部品番号 NW-9S3-029） クリーンフィルターが付いています。
クリーンフィルターが目詰まりしたときや、破損したとき	**クリーンフィルター** （部品番号 NW-7S-059） 
	お湯取ポンプストレーナ （部品番号 NW-60RS1-048）
	お湯取ポンプフィルター(緑)(黒)セット （部品番号 BW-D9JV-088） 
	お湯取ポンプネット （部品番号 NW-7S-057）
風呂水吸水口のフィルターが破損したとき	**ポンプフィルター** （部品番号 BW-DV9F-081） 
洗濯物のにおいが気になるときや、洗濯・脱水槽のにおい、汚れが気になるとき	**洗濯槽クリーナー（SK-1）** **(防食剤配合塩素系漂白剤/1500mL)**

設置条件によっては、別売り部品が必要となる場合があります。

こんなときに	別売り部品
床面を結露による水滴から守るとき	**洗濯機用トレー（YT-4）** (幅640×奥行640×高さ83mm) 
床面を本体からの水漏れや、結露による水滴から守るとき (専用部品が必要な場合があります)	**洗濯機用防水パン（TP-780）** (幅780×奥行640×高さ63mm) 排水・配管などの工事が必要です。 配管工事店または販売店にご相談のうえ、お買い求めください。 
本体を高くするとき、および防水パンの中に据え付けられないため、洗濯機の脚を防水パンの外に出して据え付けるとき	**全自動専用設置台（UP-D3）** 
排水口が洗濯機の真下にあるとき	**直下排水Ｌ形パイプ（HO-P5）** 
排水ホースを延長したいとき	**延長用排水ホース（約80cm）** （部品番号 KW-50K1-023） 
排水口に接続するとき	**Lパイプ** （部品番号 BD-V3700L-003） 
排水口が糸くずなどで詰まりやすくなったとき	**糸くずボックス（WLB-4）** （排水ホース：長さ800mm） 
排水口からの逆流やにおいを防ぐとき	**洗濯機用排水トラップ（YT-T1）** 排水トラップの取り付けには、排水・配管などの工事が必要です。 配管工事店または販売店にご相談のうえ、お買い求めください。 
本体を水平に据え付けるとき	**脚キャップ** （部品番号 NW-D8BX-065） 

仕様

この製品は日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。
また、アフターサービスもできません。

本　体

形　　名	MAW-70BP
電　　源	100V、50/60Hz共用
標準洗濯容量	7.0kg（乾燥状態での布質量）
標準脱水容量	
標　準　水　量	57L（「標準」コース）
標準使用水量	108L（「標準」コース）
定格消費電力	490/590W（50/60Hz）
洗　濯　方　式	うず巻式
水　道　水　圧	0.03～0.8MPa {0.3～8kgf/cm^2}
外　形　寸　法	幅568mm×奥行540mm×高さ986mm
質　　量	約33kg

風呂水ポンプ（本体に内蔵）

定格消費電力	40W（50-60Hz）	揚　水　量	毎分12L （全揚程1.2m、ホース長さ4mのとき）
定　格　電　圧	DC 100V		
定　格　電　流	DC 0.43A	お湯取ホース内径	15mm（市販のホースは使えません）

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

(本体への表示内容)

経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた以下の表示を本体に行っています。

【製造年】（本体の銘板の中に西暦4桁で表示してあります）

【設計上の標準使用期間】　7年
設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

(設計上の標準使用期間とは)

・運転時間や温湿度など、以下の標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
・設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、一般的な故障を保証するものでもありません。

■標準的な使用条件

日本工業規格 JIS C9921-4による

環境条件	電圧	単相100V	
	周波数	50Hz/60Hz	
	温度	20℃	
	湿度	65%	
負荷条件	負荷	標準容量	取扱説明書の表示による
	コース	標準コース	
	給水圧力	0.03～0.8MPa	
	給湯・給水温度	20℃±15℃	
使用時間及び回数	1日の平均使用回数	1.5回	
	1回の使用時間	標準コースの時間	
	1年間の使用日数	365日	
	1年間の使用回数	1.5回×365日＝547.5回／年	
注記：温度20℃、湿度65%は、JIS Z 8703の試験状態を参考としている。			

(経年劣化とは)

長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。
●設置状況や環境、使用頻度が上記の条件と異なる場合、または、本来の使用目的以外でご使用された場合は、設計上の標準使用期間より短い期間で故障したり、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

保証とアフターサービス

保証書(別添)

保証書は、必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。保証書は内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。
保証期間は、お買上げ日から1年間です。保証期間内でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品の保有期間

当社は、この洗濯機の補修用性能部品を製造打切後6年保有しています。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

修理のために取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は、弊社にて引き取らせていただきます。
修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

ご不明な点や修理に関するご相談は

お買上げの販売店か「三菱電機　ご相談窓口・修理窓口」→(P.67)にご相談ください。

転居されるとき

ご転居により、お買上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。
電源周波数の異なる地区へのご転居に際しても部品の交換は不要です。

修理を依頼されるときは　出張修理

「修理を依頼する前に」→(P.54~59)にしたがってお調べください。なお、不具合があるときは、電源スイッチを切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

保証書の規定にしたがって、修理させていただきます。
なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

ご連絡していただきたい内容

品　　名	全自動電気洗濯機
形　　名	MAW-70BP
お買上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご 住 所	付近の目印なども併せてお知らせください。
お 名 前	
電話番号	
訪問ご希望日	

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。
点検・診断のみでも有料となることがあります。

修理料金の仕組み

修理料金は、技術料＋部品代(＋出張料)などで構成されています。

技術料…製品の点検や故障した製品を正常に修復するための料金です。

部品代…修理に使用した部品代金です。

出張料…お客様のご要望により、製品のある場所へ技術員を派遣する費用(出張料)や有料駐車場の費用(駐車料)を別途いただく場合があります。

この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

一般家庭用以外でご使用になるとき

以下のような場合には、保証期間の対象外となります。お買上げの販売店にご相談のうえ、定期的な点検(有料)を受けてお使いになることをおすすめいたします。

- ●車両、船舶に搭載して使用された場合。
- ●理容院や美容院などの業務用使用、また、寮や病院などの共同使用により、1日の使用時間が一般家庭に比べて極端に長い場合、短期間で部品交換(クラッチ、シール、軸受、フィルターなど)が必要になることがあります。

ご相談窓口・修理窓口のご案内(家電品)

取扱い・修理のご相談は、まず
お買上げの販売店へ

●お買上げの販売店にご依頼できない場合(転居や贈答品など)は、
各窓口 へお問い合わせください。

■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

1.お問合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。

2.上記利用目的のために、お問合わせ（ご依頼）内容の記録を残すことがあります。

3.あらかじめお客様からご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
②法令等の定める規定に基づく場合。

4.個人情報に関するご相談は、お問合せをいただきました窓口にご連絡ください。

ご相談窓口　家電品の購入相談・取扱い方法

受付時間365日24時間

●三菱電機お客さま相談センター

フリーダイヤル **0120-139-365**（無料）
いつもサンキュー　365日

■ご相談対応　平　日　9：00~19：00
土・日・祝・弊社休日　9：00~17：00
上記以外の時間は受付のみ可能です。
〒154-0001　東京都世田谷区池尻 3-10-3

携帯電話・PHSの場合
ナビダイヤル **TEL 0570-077-365**（有料）
ナビダイヤル **FAX 0570-088-365**（有料）

フリーダイヤル・ナビダイヤルをご利用いただけない場合は
TEL 03-3414-9655　FAX 03-3413-4049

修理窓口　家電品の修理の問合せ・修理の依頼

受付時間365日24時間

●三菱電機修理受付センター

フリーダイヤル **0120-56-8634**（無料）
パソコン・スマートフォン **http://www.melsc.co.jp**
フィーチャーフォン 空メールの送り先：**fc8634@melsc.jp**
または2次元コードからアクセス。URLをメール返信します。

携帯電話・PHSの場合
ナビダイヤル **TEL 0570-01-8634**（有料）
ナビダイヤル **FAX 0570-03-8634**（有料）

●所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。　K18A

●電話番号をお確かめのうえ、お間違えのないようにおかけください。

お客様便利メモ

後日のために記入しておいてください。サービスを依頼されるとき、お役に立ちます。

ご購入店名　　電話（　　）　-

ご購入年月日　　年　　月　　日

愛情点検

★長年ご使用の洗濯機の点検を！

ご使用の際、このような症状はありませんか？

- ●洗濯・脱水槽が止まりにくい。
- ●水漏れがする。(ホース、水槽、給水つぎて)
- ●こげくさい臭いがしたり、運転中に異常な音や振動がある。
- ●本体にさわるとビリビリ電気を感じる。
- ●据付が傾いたりグラグラしている。
- ●電源を入れても、動かないときがある。
- ●タイマーが途中で止まることがある。
- ●電源コード、プラグが異常に熱い。
- ●その他の異常・故障がある。
- ●電源プラグが変形したり、電源コードにひび割れや傷がある。

→ ご使用中　止

このような症状のときは、故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて販売店に点検・修理をご相談ください。

J-Moss(JIS C 0950)の規定に基づき、対象となる6物質(鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、PBB、PBDE)の含有についての情報を公開しております。詳しくはホームページをご覧ください。
http://MitsubishiElectric.co.jp/jmoss/

廃棄時にご注意願います。
家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの洗濯機を廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金（リサイクル料金)をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

三菱電機株式会社
〒100-8310　東京都千代田区丸の内2-7-3　東京ビル